

消 防 年 報

平成31年版
(令和元年版)

南 但 消 防 本 部

は し が き

この年報は、南但消防本部の消防現勢及び平成30年中の消防業務に関する事項について収録し、今後の消防業務の推進に関する基礎資料とするとともに、当本部の実態を紹介するために編集しました。

内容は、平成31年4月1日現在とし、予算及び予防関係については会計年度、火災・救急・救助関係については暦年、その他は必要に応じ当該表に記載年月日を表示しています。

また、平成24年度以前の統計については養父市消防本部、朝来市消防本部の合算により作成しています。

令和元年6月

南但消防本部

もくじ

南但消防本部の概要	1
構成市の概要	2
消防本部・消防署所の概要	3
南但消防本部組織・階級別職員配置状況	4
消防車両一覧	5
沿革	6
平成30年度中の主要行事	12
おもな出来事	14
一目統計	16

【概要編】

管理	18
予防	19
災害活動の概要	
火災	20
救急	22
救助	24
通信	26

【統計資料編】

管理編

平成30年度予算状況	29
平成30年度職員給与費等の実態	29
階級別勤続年数	30
年齢別職員構成	30
研修派遣状況	31
階級別資格取得状況	32
平成29年度一般会計決算の概要	33
消防相互応援協定等の締結状況	34

予防編

防火対象物の概要(地域別・中高層建物)	36
防火対象物の概要(査察件数・防火管理者・消防計画)	37
確認申請処理状況	38
消防教室実施状況	38
危険物施設数及び立入検査回数	39
危険物施設設置許可及び変更許可の状況	39
市別・数量別危険物施設数	40
市別・類別危険物施設数	40
各種届出等受理状況	41

警防編

火災

年次別火災発生状況	43
月別火災発生状況	45
曜日別火災発生状況	45
時間別火災発生状況	46
使用した消防水利	46
覚知から現場到着までの所要時間	47
放水開始から鎮火までの所要時間	47
出火原因	48
用途別火災発生状況	49

救急

年次別救急発生状況	50
月別救急発生状況	51
曜日別救急発生状況	52
時間別救急発生状況	53
覚知から現場到着までの所要時間状況	54
覚知から医療機関収容までの所要時間状況	54
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	55
ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況	55
事故種別・収容医療機関状況	56
地域別・収容医療機関状況	56
救急隊の行った応急処置状況	57
普通救命講習実施状況	57

救助

年次別救助発生状況	58
月別救助発生状況	59
曜日別救助発生状況	60
時間別救助発生状況	61
事故種別・傷病程度別状況	62

通信

年次別119番受信状況	63
-------------	----

装備

消防用機器の配置状況	64
------------	----

各種団体

消防団組織図	66
協力団体組織図	67

南但消防本部の概要

1 位置と地勢

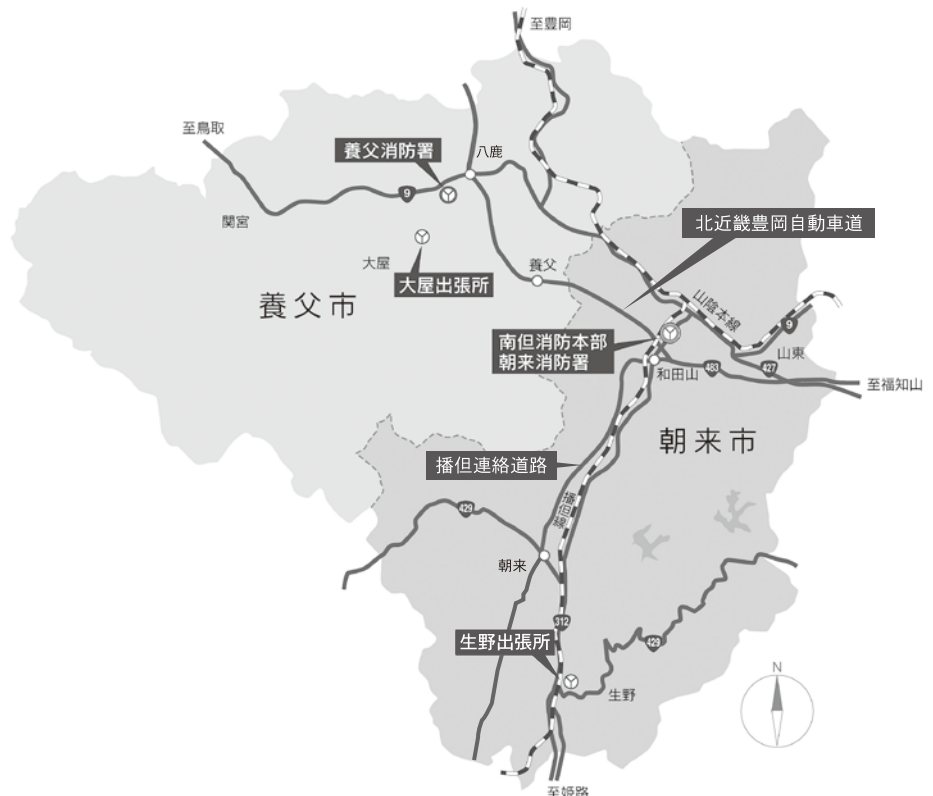
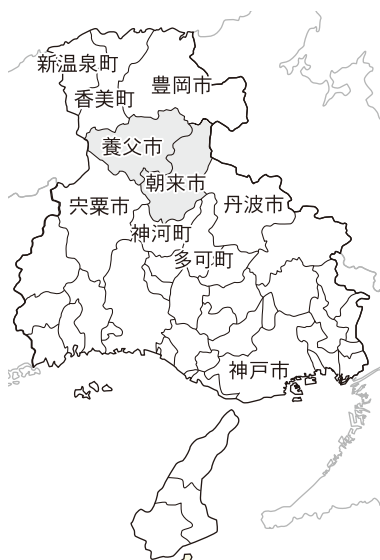
南但消防本部のある南但馬地域は兵庫県の北部に位置し、養父市及び朝来市の2市で構成されています。

道路交通網は、京阪神と山陰地方を結ぶ主要な地域幹線道路である国道9号及び427号が東西に、姫路方面と山陰地方を結ぶ国道312号が南北に通っています。また、国道312号に沿って播但連絡道路とJR播但線が通っており、さらに国道9号に沿ってJR山陰線が通っています。平成29年3月に北近畿豊岡自動車道の八鹿氷ノ山IC～日高神鍋高原IC間が開通するなど、但馬山陰地方と京阪神とを結ぶ交通の要衝にあります。

河川は、市川が北から南に流れ瀬戸内海に注ぎ、一級河川の円山川が南から北に流れ日本海に注いでおり、兵庫県の南北の分水嶺となっています。

また、養父市には県下最高峰の氷ノ山を始め、鉢伏山、ハチ高原、若杉高原や妙見山がそびえ、朝来市には茶すり山古墳を始めとする多くの古代遺跡、さらに、竹田城跡や生野銀山などの中世から近世にかけての史跡などが数多くあります。

平成29年4月28日、文化庁により地域の歴史遺産や文化財の魅力を伝えるストーリーを認定する「日本遺産」に、養父市・朝来市を含む6市町共同で申請した『播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道』が正式に認定されました。



2 管轄人口と世帯数

市町名	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
養父市	23,510	9,399	422.91
朝来市	30,497	12,353	403.06
合計	54,007	21,752	825.97

H31.3.31現在住民基本台帳人口による

構成市の概要

養父市 「響きあう心 世界へ拓く ^{ゆい}結の郷 やぶ」



三角形は兵庫県最高峰の氷ノ山を象徴したもので、向かい合う2本のラインは、養父市を流れる大屋川、八木川を表している。

【市花】ミズバショウ

【市木】ブナ

【主な産業・経済】

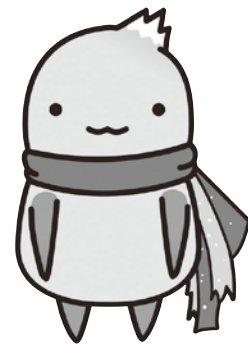
大根、朝倉山椒等の農産物、但馬牛、八鹿豚などの畜産物

【観光・文化・歴史】

氷ノ山(兵庫県最高峰)、天滝(日本の滝100選)

明延鉦山、ハチ高原、名草神社三重塔

全日本ビバホールチェロコンクール



【養父市イメージキャラクター】
やっぷー

朝来市 「人と緑 心ふれあう 交流のまち 朝来市」



朝来市の頭文字である「ア」をモチーフとして、円は人々の交流を、太陽の光は4つの町を象徴し、緑豊かな山から朝日が昇ってくる様子を表現している。

【市花】さくら

【市木】けやき

【主な産業・経済】

金属製品製造業、金属バネ工業、岩津ねぎ

【観光・文化・歴史】

竹田城跡(日本100名城)、茶すり山古墳(近畿最大円墳)

生野銀山及び鉦山町の文化的景観、白井大町藤公園

神子畑鉄橋(日本最古の全鉄橋)



【朝来市マスコットキャラクター】
ちゃあいいん

消防本部・消防署所の概要

消防本部・消防署

南但消防本部・朝来消防署

【住所】

朝来市和田山町枚田436番地の1

【建築年月】

昭和51年12月(平成16年9月耐震化工事完了)
(平成28年9月駐車場修繕工事完了)

【敷地面積】

2,651.4m²

【構造】

鉄筋コンクリート造 3階建一部鉄骨造



消 防 署

養父消防署

【住所】

養父市八鹿町高柳173番地

【建築年月】

昭和53年12月(平成26年12月耐震化工事完了)
(平成30年7月駐車場舗装修繕工事完了)

【敷地面積】

1,368.81m²

【構造】

鉄筋コンクリート造 2階建



出 張 所

朝来消防署生野出張所

【住所】

朝来市生野町口銀谷222番地の1

【建築年月】

昭和52年11月

【敷地面積】

585.55m²

【構造】

鉄筋コンクリート造 2階建



養父消防署大屋出張所

【住所】

養父市大屋町樽見549番地

【建築年月】

昭和54年12月
(平成26年8月耐震化(事務所棟建替)工事完了)

【敷地面積】

751.93m²

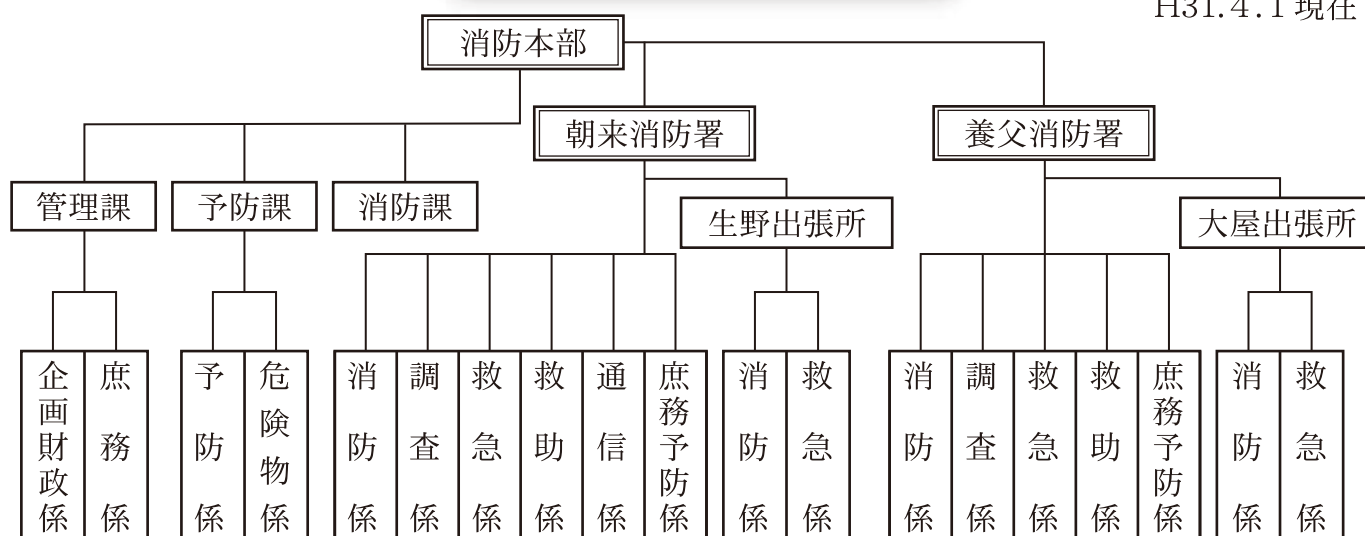
【構造】

鉄骨造2階建



南但消防本部組織

H31.4.1 現在



階級別職員配置状況

H31.4.1 現在

区 分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長 消 防 士	計	
消防本部	消 防 長	1					1	
	次 長		1				1	
	管 理 課		2	2		4	8	
	予 防 課		5	1	2	2	10	
	消 防 課		6	3			9	
朝来消防署	署 長		(1)				(1)	
	副 署 長		1 (2)				1 (2)	
	庶務予防係			(3)	(2)	(3)	(8)	
	第 一 部		2 (1)	4 (2)	1 (1)	6 (1)	13 (5)	
	第 二 部		1 (2)	4 (3)	1 (1)	5 (1)	11 (7)	
	生野出張所	所 長		1				1
		第一部			3		2	5
		第二部		(1)	2		2	4 (1)
養父消防署	署 長		1				1	
	副 署 長		(1)				(1)	
	庶務予防係		(3)	1	1	1	3 (3)	
	第 一 部		2 (1)	4	1 (1)	3	10 (2)	
	第 二 部		2 (1)	3 (1)	2	2 (1)	9 (3)	
	大屋出張所	所 長		1				1
		第一部		(1)	2	1	1	4 (1)
		第二部			2	2	1	5
計		1	25(14)	31 (9)	11 (5)	29 (6)	97(34)	

※() は兼務職員を示す。

消防車両一覧

(平成31年3月31日現在)

種 別			メーカー	導入年度	経過年数	エンジン
朝来消防署	1	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型	日野	平成30年度	—	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車 CD-I 型	日野	平成15年度	15 年	ディーゼル
	3	はしご付消防自動車 15m 級	日野	平成28年度	2 年	ディーゼル
	4	救助工作車Ⅱ型	日野	平成29年度	1 年	ディーゼル
	5	高規格救急車	トヨタ	平成20年度	10 年	ガソリン
	6	高規格救急車	トヨタ	平成24年度	6 年	ガソリン
	7	高規格救急車	トヨタ	平成29年度	1 年	ガソリン
	8	指揮車	トヨタ	平成14年度	16 年	ガソリン
	9	指揮支援車	日産	平成21年度	9 年	ガソリン
	10	広報車	トヨタ	平成23年度	7 年	ガソリン
	11	カーゴトレーラー	シーマリン	平成21年度	9 年	—
	12	司令車	ホンダ	平成21年度	9 年	ハイブリット
生野出張所	13	消防ポンプ自動車 CD-I 型	日野	平成30年度	—	ディーゼル
	14	高規格救急車	トヨタ	平成26年度	4 年	ガソリン
	15	指揮車	スズキ	平成24年度	6 年	ガソリン
養父消防署	1	化学消防ポンプ自動車	日野	平成22年度	8 年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車 CD-I 型	三菱	平成15年度	15 年	ディーゼル
	3	救助工作車Ⅱ型	日野	平成18年度	12 年	ディーゼル
	4	高規格救急車	トヨタ	平成25年度	5 年	ガソリン
	5	高規格救急車	トヨタ	平成21年度	9 年	ガソリン
	6	指揮車	トヨタ	平成19年度	11 年	ガソリン
	7	広報車	トヨタ	平成21年度	9 年	ガソリン
	8	司令車	トヨタ	平成25年度	5 年	ガソリン
大屋出張所	9	消防ポンプ自動車 CD-I 型	トヨタ	平成23年度	7 年	ディーゼル
	10	高規格救急車	トヨタ	平成30年度	—	ガソリン
	11	指揮車	スズキ	平成25年度	5 年	ガソリン

沿 革

1 南但消防本部

年 月	記 事
平成25年 4月	南但消防本部発足(記念式典及び消防本部旗授与式挙行 4/1) 消防吏員 4 名を採用(条例定数98名) 県下広域を含めて各消防応援協定を締結(詳細は34頁に掲載)
5月	消防救急デジタル無線実施設計着手
7月	消防本部の広報紙「NANTAN 119だより」創刊号を発行
11月	公用車を更新し養父消防署に配備
12月	高規格救急自動車を更新し養父消防署に配備、指揮車を更新し大屋出張所に配備
平成26年 1月	南但消防本部として初めての出初式挙行
3月	大屋出張所耐震化工事着手 朝来市及び養父市危険物安全協会解散総会開催
4月	消防吏員 7 名を採用(条例定数98名)
5月	南但危険物安全協会設立総会・記念式典
6月	消防救急デジタル無線工事着手 消防職団員参集メールシステム運用開始
8月	大屋出張所耐震化工事完了
11月	消防センター改修工事
12月	養父消防署耐震化工事完了
平成27年 1月	阪神淡路大震災20年メモリアル訓練実施(南但消防本部) 高規格救急自動車を更新し朝来消防署に配備
4月	消防吏員 7 名(うち 1 名、初の女性消防吏員)を採用(条例定数98名)
12月	女性消防職員仮眠室完成
平成28年 1月	消防救急デジタル無線試験運用開始
4月	消防救急デジタル無線正式運用開始 消防吏員 5 名を採用(条例定数98名) 熊本地震緊急消防援助隊派遣(4/16～4/22 救急小隊、後方支援隊 延べ 12名を派遣)
8月	第45回全国消防救助技術大会に南但消防本部として初出場
9月	朝来消防署アスファルト舗装修繕工事完了
11月	15mはしご付消防自動車を更新し朝来消防署に配備
平成29年 4月	消防吏員 2 名(うち1名、初の女性救急救命士)を採用(条例定数98名)
9月	養父市住宅密集地火災防ぎょ訓練
11月	第26回全国救急隊員シンポジウム事例発表(千葉市)
12月	第 6 回全国消防職員剣道大会:女子個人の部第 3 位
平成30年 3月	救助工作車を更新し朝来消防署に配備(緊急消防援助隊 救助小隊に登録)
4月	消防吏員 6 名を採用(条例定数98名)
7月	平成30年 7 月豪雨 緊急消防援助隊派遣(7/18～7/20 救助小隊を派遣) 養父消防署駐車場アスファルト舗装修繕工事完了
11月	住宅密集地火災防ぎょ訓練(養父市、朝来市)

2 旧朝来市消防本部の沿革

年 月	記 事
昭和51年 4月	朝来郡広域消防事務組合消防本部(署)を設置(新規採用18名を含む20名で消防業務開始) 神戸市消防局から救急車(1 B型)を借用
5月	救急車(デリカ)を配備(和田山ライオンズクラブから寄贈)
9月	消防ポンプ自動車(B D - I 型)を配備、小型動力ポンプ付積載車(B 2 級ポンプ積載)を配備
10月	初任研修を修了した消防士15名を配置し、消防業務全般を開始
12月	和田山町枚田436番地 1 に消防本部庁舎竣工、移転 救急車(2 B 型)を配備(日本損害保険協会から寄贈)
昭和52年 1月	消防用無線電話開局
4月	消防吏員14名を採用
6月	県道山東・柏原線の遠阪トンネル開通に際し、氷上郡青垣町と応援協定を締結
9月	査察広報車を配備
10月	消防ポンプ自動車(B D - I 型)を配備
11月	生野町口銀谷222番地 1 に消防署生野出張所庁舎竣工。消防吏員 9 名を配置、消防ポンプ自動車(B D - I 型)及び救急車(デリカ)を配備し消防業務開始
昭和53年 1月	本署屋外訓練場に訓練塔を建設
4月	消防吏員 9 名を採用(条例定数43名)。消防専用電話119番を消防本部に集中、同時に農協有線一斉放送設備を使用し、火災発生報知業務を開始。朝来郡危険物安全協会発足
12月	水槽付消防ポンプ自動車(水 I - B 型)を本署に配備
昭和54年 3月	生野出張所にサイレン一斉吹鳴装置を設置
昭和55年 2月	救急車(2 B 型)を本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
4月	中播消防事務組合と応援協定を締結
11月	広報誌「119だより」創刊号を発行
12月	救急指令装置 C 型を整備
昭和56年 4月	兵庫県救急医療情報システムを導入
8月	第10回全国消防救助技術大会に初出場
昭和57年 2月	養父郡広域事務組合と応援協定を締結
8月	第11回全国消防救助技術大会に 2 年連続で出場
昭和58年 6月	兵庫県下消防職員意見発表会に出場し最優秀賞を獲得(4/22)、近畿地区代表として全国消防職員意見発表会に出場し入賞
8月	第12回全国消防救助技術大会に 3 年連続で出場。氷上郡広域行政事務組合と応援協定を締結
12月	宍粟広域消防事務組合と応援協定を締結
昭和59年 2月	北但広域消防事務組合と応援協定を締結
3月	西脇市多可郡消防事務組合と応援協定を締結
8月	救急車(2 B 型)を更新し出張所に配備(日本消防協会から寄贈)。福知山市と応援協定を締結。 第13回全国消防救助技術大会に 4 年連続出場
昭和60年 1月	播但地区消防職員意見発表会で最優秀賞を獲得
昭和61年 6月	河川情報システムを運用開始
8月	第15回全国消防救助技術大会に 2 年ぶりに出場
昭和62年 8月	第16回全国消防救助技術大会に 2 年連続出場
9月	救急車(2 B 型)を更新し本署に配備(兵庫県共済農業共同組合連合会から寄贈)
昭和63年 2月	救助工作車(I 型)を本署に配備
8月	県下消防本部と兵庫県広域消防相互応援協定を締結
平成元年 2月	水槽付消防ポンプ自動車(水 I - A 型)を整備し、出張所に配備
9月	査察広報車を更新
10月	水槽付消防ポンプ自動車(水 I - B 型)を更新し本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)

平成 2年 3月	消防訓練塔(15m主訓練塔及び補助訓練塔)が完成
4月	緊急通報システム運用開始
8月	消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新し本署に配備
10月	第38回全国消防技術者会議で職員が研究発表
平成 3年 4月	救急救命士法成立
8月	救急車(2B型)を更新し出張所に配備(日本消防協会から寄贈)
9月	台風19号来襲、朝来郡内各地に被害
平成 4年 3月	兵庫県道路公社、姫路市、中播消防事務組合と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定締結。兵庫県道路公社、中播消防事務組合と播但連絡有料道路における消防無線設備及び通信施設に関する協定締結
9月	生野町オフトーク放送運用開始
平成 5年 4月	朝来郡コミュニティ消防センター竣工。兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始
平成 6年 2月	消防緊急通信指令施設運用開始
4月	救急救命士養成所に職員1名を初めて派遣(神戸市 前期)
11月	高圧ガス等の移譲事務取扱開始
平成 7年 1月	兵庫県南部地震発生(1/17、M7.3)、神戸市灘消防署に応援隊派遣(延べ12日間、32名、11台)
3月	高規格救急自動車を整備し本署に配備
4月	救急救命士による救急業務開始。同日、高規格救急自動車運用開始
平成 8年 3月	15mはしご付消防自動車を整備し本署に配備
6月	朝来郡広域消防事務組合を朝来郡広域行政事務組合に統合し、消防本部名を「あさご消防本部」に変更。消防本部発足20周年記念式典挙行
9月	朝来郡内の各町と朝来郡消防相互応援協定を締結
10月	兵庫県消防防災航空隊発足
平成 9年 1月	ロシア船籍「ナホトカ号」座礁に伴う流出油回収へ応援出動(～1/25)
3月	朝来郡自主防災推進協議会発足式を挙行
6月	山東町防災行政無線システム開局
	播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得(4/15)。近畿地区代表として、京都市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
平成10年 4月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
平成11年 2月	兵庫県道路公社、氷上郡広域行政事務組合と遠阪トンネル有料道路における消防無線等に関する協定締結
8月	第28回全国消防救助技術大会に12年ぶりに出場
平成12年 5月	播但連絡道路開通
8月	第29回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
平成13年 7月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
9月	救助工作車を更新し本署に配備(Ⅱ型に更新)
平成14年 3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員1名を隊員派遣
4月	和田山町及び朝来町のCATV開局
12月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ-A型)を更新し、生野出張所に配備
平成15年 7月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)を整備し本署に配備
	消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新し本署に配備
8月	第32回全国消防救助技術大会に3年ぶりに出場
平成16年 4月	兵庫県ドクターヘリ運用開始、兵庫県・神戸市消防防災ヘリコプター共同運航開始
7月	福井豪雨災害に緊急消防援助隊を派遣
8月	気管挿管認定救命士誕生。台風16号来襲、管内各地で被害発生
9月	消防本部庁舎耐震化工事完了
10月	台風23号来襲、但馬全域で被害甚大(管内救助人員66名)

平成16年10月	兵庫県下広域応援出動要請により、豊岡市に救助隊を派遣。兵庫県下広域消防相互応援隊及び緊急消防援助隊の基地本部に指定され、県下応援隊(100隊)及び緊急消防援助隊(大阪府他計139隊)対応を北但広域消防本部に代わり但馬代表代行消防本部として行う 高規格救急自動車を更新し、出張所に配備
平成17年 3月	朝来郡広域行政事務組合の解散式、合併により同組合が解散する
4月	朝来市消防本部誕生(朝来郡4町が合併し朝来市が誕生)
11月	尼崎市ＪＲ福知山線列車事故災害に兵庫県消防相互応援協定に基づき救急隊を派遣 携帯電話からの119番通報を直接受信開始
平成18年 3月	薬剤投与認定救命士誕生
7月	北近畿豊岡自動車道(春日～和田山間)開通
8月	第35回全国消防救助技術大会に3年ぶりに出場
12月	第9回全国消防広報コンクールで広報紙の部で優秀賞受賞
平成19年 2月	高機能消防指令センター運用開始
6月	播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得(4/24)。近畿地区代表として、名古屋市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
8月	第36回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
10月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
12月	第10回全国消防広報コンクールで広報紙の部で入賞
平成20年 8月	第37回全国消防救助技術大会に3年連続で出場 自動体外式除細動器(AED)設置施設公表制度開始
平成21年10月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
12月	指揮支援車を本署に配備
平成22年 4月	ドクターヘリ運航開始
12月	ドクターカー運行開始
平成23年 3月	東北地方太平洋沖地震発生(3/11、M9.0)
3月～ 4月	東日本大震災に緊急消防援助隊派遣(兵庫県隊、但馬ブロック隊として計16名派遣)
8月	消防広域化協議会発足式開催
平成24年 6月	消防救急デジタル無線基本設計・電波伝搬調査実施
8月	第41回全国消防救助技術大会に4年ぶりに出場 養父市及び朝来市消防広域化調印式(8/22)
11月	指揮支援車を更新し出張所に配備
平成25年 3月	朝来市消防本部を閉庁

3 旧養父市消防本部の沿革

年 月	記 事
昭和53年 4月	養父郡広域事務組合養父郡消防本部(署)を設置(新規採用19名を含む24名で消防業務開始)
5月	査察広報車を配備
8月	救急車(2B型)2台を配備(八鹿病院及び日本船舶振興会から寄贈)
9月	消防ポンプ自動車(BD-I型)及び司令車を配備
10月	初任科研修を修了した消防士18名を配置し、消防業務全般を開始
11月	化学消防自動車(II型)を配備
12月	八鹿町高柳173番地に消防本部庁舎竣工に伴い移転。消防専用電話119番・農協有線電話0119番を消防本部に集中化。農協有線一斉緊急放送設備の運用開始。消防用無線電話開局
昭和54年 4月	消防吏員7名を採用

昭和54年	6月	救急車(2B型)を配備(日産自動車から寄贈)
	9月	小型動力ポンプ付積載車を配備(日本船舶振興会から寄贈)
	12月	大屋町樽見549番地に消防署大屋出張所庁舎竣工。消防吏員8名を配置、小型動力ポンプ付積載車及び救急車(2B型)、広報車(大屋ライオンズクラブから寄贈)を配備し消防業務開始
昭和55年	3月	八鹿町高柳313-10番地に消防訓練場及び訓練塔を竣工。気象観測装置一式設置
	4月	消防吏員5名を採用(条例定数35名)
	6月	養父町建屋婦人防火クラブ結成
昭和56年	5月	救助工作車(I型)を本署に配備
	8月	消防本部書庫及び車庫増築
	11月	関宮町立出合小学校少年消防クラブ結成
	12月	養父郡幼少年婦人防火委員会設立
昭和57年	2月	朝来郡広域消防事務組合と応援協定締結
	3月	養父町立養父小学校少年消防クラブ結成
	4月	養父郡消防本部発足5周年記念式典挙行
	6月	大屋町婦人防火クラブ結成
	8月	消防訓練場に水防倉庫完成
昭和58年	7月	宍粟広域消防事務組合と応援協定締結
	8月	美方郡広域消防事務組合と応援協定締結
	9月	消防ポンプ自動車(BD-I型)を本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
昭和59年	2月	北但広域消防事務組合と応援協定締結
	5月	査察広報車を更新し本署に配備
	11月	防火広報車を更新し本署に配備(日本防火協会から寄贈)
昭和60年	10月	救急車(2B型)を本署に配備(兵庫県農業共済連合会から寄贈)
昭和61年	1月	八鹿町立伊佐小学校少年消防クラブ結成
昭和62年	4月	公用車を本署に配備
昭和63年	2月	広域消防応援体制充実のため消防用無線全国波を増設
	4月	消防訓練場に夜間照明設備完成。養父郡消防本部発足10周年記念式典挙行
	8月	県下消防本部と兵庫県広域消防相互応援協定を締結。本署に救急消毒室整備 林野火災特別地域指定に伴い林野火災用可搬式送水装置を配備
	10月	消防ポンプ自動車(BD-I型)を更新し出張所に配備
	11月	司令車を更新し本署に配備
平成元年	8月	出張所に救急消毒室を整備
	10月	救急車(2B型)を出張所に配備(日本消防協会から寄贈)
平成 3年	2月	救助工作車(I型)を更新し本署に配備
	10月	緊急通報システム運用開始
平成 4年	1月	査察広報車を更新し本署に配備
	11月	救急車(2B型)を本署に配備(日本消防協会から寄贈)
	12月	化学消防車(II型)を更新し本署に配備
平成 5年	4月	兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始
	10月	消防ポンプ自動車(BD-I型)を本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
	11月	救急車(2B型)を本署に配備(養父郡農業協同組合から寄贈)
平成 6年	7月	査察広報車を更新し出張所に配備
	11月	防火広報車更新
平成 7年	1月	兵庫県南部地震発生、神戸市灘消防署に応援隊派遣(1/17、延べ11日間、33名、11台)
	10月	救命士養成所に職員1名を初めて派遣(財団九州研修所 後期)
平成 8年	9月	兵庫県災害対応総合情報ネットワークシステム導入
平成 9年	3月	高規格救急自動車を整備し本署に配備(日本自動車工業会から寄贈)

平成 9年 7月	公用車を更新し本署に配備
平成10年 6月	養父郡消防本部発足20周年記念式典挙行、シンボルマーク及びマスコットキャラクター制定
12月	冬山捜索装備品整備
平成11年 6月	高規格救急自動車(4WD)を整備し出張所に配備
平成12年12月	緊急通報システムセンター装置更新
平成13年12月	緊急テロ対策関係資器材整備
平成14年10月	司令車を更新し出張所に配備
平成15年 3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員1名を隊員派遣
6月	災害対応特殊高規格救急自動車(4WD)を本署に配備
8月	第32回全国消防救助技術大会に初出場
12月	消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新し出張所に配備
平成16年 3月	養父郡広域事務組合の解散式、合併により同組合が解散する
4月	養父市消防本部誕生(養父郡4町が合併し養父市が誕生)
8月	第33回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
10月	台風23号来襲、但馬全域で被害甚大、県下広域応援出動要請により豊岡市に救助隊を派遣
平成17年 4月	播但地区代表として兵庫県消防職員意見発表会に出場
8月	第34回全国消防救助技術大会に3年連続で出場
9月	救命ボート、水難救助器材、自家用発電機整備
11月	携帯電話からの119番通報を直接受信開始
平成19年 1月	救助工作車(II型)を更新し本署に配備
8月	第36回全国消防救助技術大会に2年ぶりに出場
12月	八鹿ライオンズクラブから自動体外式除細動器(AED)を寄贈され署所に配備
平成20年 3月	査察広報車を更新し本署に配備(JAたじま・JA共済連兵庫から寄贈)
7月	八鹿ヘリポート少量危険物貯蔵施設整備
平成21年 2月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
9月	防火広報車を更新し本署に配備
11月	携帯・IP電話位置情報システム運用開始
平成22年 3月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
4月	ドクターヘリ運航開始
12月	ドクターカー運行開始、化学消防ポンプ自動車を更新し本署に配備
平成23年 3月	東北地方太平洋沖地震発生(M9.0)
3月～4月	東日本大震災に緊急消防援助隊派遣(兵庫県隊、但馬ブロック隊として計14名派遣)
8月	養父市及び朝来市消防広域化協議会発足式開催
9月	消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新し本署に配備
10月	ドクターカー・ドクターヘリとの併用運行開始
12月	鳥取県東部広域行政管理組合と応援協定を締結
平成24年 8月	養父市及び朝来市消防広域化調印式(8/22)
平成25年 3月	養父市消防本部を閉庁

平成 30 年度中の主要行事

月 日	内 容
4月 1日	山火事防止月間(～4/30) 養父市消防大会(於:八鹿文化会館)、朝来市消防大会(於:和田山ジュピターホール)
4月 2日	南但消防本部辞令交付式(職員採用者 6 名)
4月 5日	兵庫県消防学校「初任科」5 名入校(卒業式9/27)
4月20日	南但危険物安全協会理事会(於:和田山ホテル)
4月22日	消防ふれあい祭り(於:イオン和田山店)
4月25日	第 1 回消防関係機関連絡会(於:南但消防本部)
5月 1日	第 1 回ドクターヘリ症例検討会(於:南但消防本部)
5月 6日	養父市消防団消防操法大会(関宮方面隊)
5月 7日	救助隊強化訓練開始(～7/21)
5月13日	養父市消防団消防操法大会(八鹿方面隊) 朝来市消防団消防操法指導会(於:南但消防本部)
5月14日	養父市幼少年婦人防火委員会総会(於:養父消防署)
5月17日	南但危険物安全協会総会(於:和田山ジュピターホール)
5月18日	朝来市自主防災推進協議会役員会(於:南但消防本部)
5月20日	全但消防協議会総会(於:美方郡新温泉町)
5月24日	甲種防火管理新規講習(5/24、25)
5月27日	養父市消防団消防操法大会(養父方面隊)
5月28日	養父市・朝来市トライやるウィーク(～6/1)
5月29日	水防連絡会(於:姫路市)
5月30日	水防連絡会(於:養父土木事務所)
6月 3日	養父市消防団消防操法大会(大屋方面隊) 危険物安全週間(～6/9)
6月 4日	水難救助訓練(6/4、6/5 於:山東町金浦調整池)
6月 5日	但馬県民局合同防災パトロール
6月 6日	急流救助訓練(6/6、6/7 於:八鹿町小田井堰)
6月17日	養父市消防操法大会(於:但馬家畜市場) 朝来市消防操法大会(於:朝来市羽瀨タイヤチェーン脱着場)
6月27日	養父市婦人防火クラブ総会(於:広谷ふれあいセンター)
6月28日	朝来市自主防災推進協議会総会(於:和田山ジュピターホール)
7月 5日	ブリーチング訓練(7/5、7/10 於:和田山町竹田)
7月18日	平成30年 7 月豪雨に係る緊急消防援助隊災害派遣(7/18～7/20 於:広島市)
8月23日	インターンシップ(8/23、8/24 1 名)
8月30日	防災週間(～9/5)
9月 1日	救助強化月間(～9/30)
9月 2日	但馬地域合同防災訓練(於:美方郡香美町) 養父市・朝来市一斉避難訓練
9月 3日	救急救命士養成課程(～3/14)
9月 9日	救急医療週間(～9/15)
9月20日	防火ポスター審査会(於:南但消防本部)
9月26日	兵庫県消防防災航空隊合同訓練(於:山東町金浦調整池)
9月27日	第83期初任教育卒業式(於:兵庫県消防学校)
10月 2日	兵庫県消防学校「救助科」入校(～11/1)
10月10日	危険物施設防火研修会(於:南但消防本部)

月 日	内 容
10月15日	播但連絡道路合同訓練(於:播但連絡道路 朝来インター)
10月18日	第2回消防関係機関連絡会議(於:南但消防本部)
10月22日	兵庫県消防学校「危険物科」入校(～10/26)
10月23日	兵庫県消防防災航空隊合同訓練(於:氷ノ山)
10月27日	八鹿病院災害対応訓練(於:公立八鹿病院)
10月28日	緊急車両指導員養成研修(～10/29 於:はりま交通研修センター)
11月 1日	救急強化月間(～11/30) 緊急車両運転者特別研修(11/1, 2 於:はりま交通研修センター)
11月 3日	朝来ふれあい元気まつり(於:朝来支所)
11月 4日	住宅密集地火災防ぎょ訓練(於:朝来市山東町)
11月 5日	J R 列車事故対応合同訓練(於: J R 和田山駅構内)
11月 6日	第2回ドクターヘリ症例検討会(於:南但消防本部)
11月 8日	養父消防署、朝来消防署一日消防官 兵庫県消防学校初級幹部科入校(～11/16)
11月 9日	秋季全国火災予防運動(～11/15) 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練(～11/10 於:福井県) 朝来市消防団和田山支団夜間消防合同訓練(於:和田山町和田区)
11月11日	住宅密集地火災防ぎょ訓練(於:養父市八鹿町八鹿)
11月13日	養父市消防団火災演習訓練(関宮方面隊)
11月15日	旅館・ホテル防火研修会(於:南但消防本部)
11月18日	朝来市消防団研修(幹部研修 於:さんとう緑風ホール、新入団員・女性消防団員 於:南但消防本部) 消防ふれあい祭り(於:養父市Yタウン) 和田山町独り暮らし高齢者防火訪問
11月22日	養父市独り暮らし・老人世帯防火訪問(於:八鹿方面11/22 於:養父方面11/27 於:大屋方面11/28 於:関宮方面11/29)
11月26日	兵庫県消防学校特殊災害科入校(～12/7)
11月30日	生野町独り暮らし高齢者防火訪問
12月 1日	消防強化期間(～12/15)
12月 5日	兵庫県消防学校火災調査科入校(～10/18)
12月15日	年末年始特別警戒(前期12/15～12/24、後期12/25～1/3)
1月12日	平成31年消防出初式(於:南但消防本部)
1月15日	第18回播但地区消防職員意見発表会(於:姫路市)
1月20日	朝来市文化財消防訓練(於:和田山町枚田 赤淵神社)
1月24日	第27回全国救急隊員シンポジウム事例発表(～1/25 於:香川県高松市)
1月25日	大屋出張所高規格救急自動車更新
1月27日	養父市文化財消防訓練(於:養父市建屋 両松寺)
2月13日	第15回近畿消防職員駅伝大会(於:大阪市)
3月 1日	春季全国火災予防運動(～3/7)
3月 3日	朝来市消防団朝来支団火災防ぎょ訓練(於:朝来市多々良木)
3月 7日	病院・社会福祉施設防火研修会(於:南但消防本部)
3月10日	住宅密集地火災防ぎょ訓練(於:朝来市生野町小野)
3月14日	但馬救助技術研究会(於:美方広域消防本部)
3月15日	養父市独り暮らし・老人世帯防火訪問(於:八鹿方面3/15 於:大屋方面3/19 於:関宮方面3/20 於:養父方面3/26)
3月24日	朝来消防署水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)を更新
3月28日	生野出張所CD-I型消防ポンプ自動車更新

～おもな出来事～



南但消防本部辞令交付式 (4月2日)

4月から新しく6名の職員を採用し、消防長から辞令交付が行われました。1日でも早く市民から信頼される消防士になることを誓いました。



消防ふれあい祭り (4月22日、11月18日)

昨年に引き続き養父市、朝来市内で消防ふれあい祭りを開催しました。多くのご来場ありがとうございました。



トライやるウィーク (5月28日～6月1日)

和田山、養父、大屋、関宮、八鹿青溪中学校の2年生9名が参加し、敬礼などの基本訓練から救助、放水訓練、普通救命講習などの訓練にトライしました。



ドクターヘリ症例検討会 (5月1日、11月6日)

但馬救命救急センター長の小林誠人医師をはじめ、医師や看護師等スタッフの方々と、ドクターヘリ・カー事案の症例について意見交換を行いました。



広島市に緊急消防援助隊派遣 (7月18日)

兵庫県第3次派遣隊として、救助小隊5名が広島市に出動しました。行方不明者の搜索や救助活動に当たりました。



ブリーチング訓練 (9月20日～28日)

朝来市和田山町加都にてブリーチング訓練(コンクリート壁を破壊し開口部を造る)を実施し各隊員の救助技術の向上に努めました。

～おもな出来事～



J R 列車事故対応合同訓練 (11月5日)
消防本部、J R 西日本、朝来警察、八鹿病院(D M A T)、朝来医療センターの連携強化を図るため、列車事故を想定した合同訓練を実施しました。



一日消防官 (11月8日)
女性消防団員4名が消防長から辞令交付を受けた後、市内のこども園・保育園を回り、園児たちに家庭内の火災予防を呼びかけました。



養父市密集地火災防御訓練 (11月11日)
秋の全国火災予防運動に伴い、大規模な住宅密集地火災防御訓練を実施しました。訓練を通して、地区住民と関係機関の更なる連携強化を図りました。



消防出初式 (1月12日)
南但消防本部発足6周年を迎えました。訓練では高所からの救出訓練や、一斉放水訓練を行い、日頃の訓練成果を披露しました。



播但地区消防職員意見発表会 (1月15日)
消防本部の代表として、丸山消防士長が業務推進に対する提言や消防士としての心構えなどを発表しました。



消防自動車更新
(タンク車3月24日、ポンプ車3月28日)
消防自動車を2台更新しました。今まで以上に充実した資器材と多様な火災現場における活動能力が向上しました。

一 目 統 計

構成市町	面 積	人 口	世 帯 数
2 市	825.97km ²	54,007人	21,752世帯
養父市 朝来市	養父市 422.91km ² 朝来市 403.06km ²	養父市 23,510人 朝来市 30,497人	養父市 9,399世帯 朝来市 12,353世帯

予 算	組 織	職 員 数	消防団員数
1,013,751千円	消防本部 1 消 防 署 2 出張所 2	98名	2,225名 養父市 1,247名 朝来市 978名

防火対象物	危険物施設	防 火 団 体	
3,095棟 養父市 1,473棟 朝来市 1,622棟	315施設 養父市 163施設 朝来市 152施設	朝来市自主防災 推進協議会 415会員 地 域 会 員 159会員 事業所会員 250会員 賛 助 会 員 6会員	養父市幼少年婦人 防火委員会 610名 少年消防クラブ 69名 幼年消防クラブ 441名 婦人防火クラブ 100名

火 災	救 急	救 助	そ の 他
26件 【出火原因】 ①焼却火 ②不明 ③ガス機器	出動件数 3,096件 搬送人員 2,792名 【事故種別】 ①急 病 ②一般負傷 ③転院搬送	出動件数 63件 救助人員 54名 【事故種別】 ①交通事故 ②建物等による事故 ③自然災害	出動件数 1,000件 【種別】 ①ヘリ支援 788件 ②救急支援 145件 ③そ の 他 67件

通 信	タンク・ポンプ車	特殊車両	救 急 車
119番総受信回数 3,699回 緊急通報受信回数 2,839回	タンク車 1台 ポンプ車 4台	は し ご 車 1台 救助工作車 2台 化 学 車 1台	高規格救急車 6台

概要編

凡例

統計中の符号等の用法は、次のとおりです。

「0」 ……該当数字を四捨五入した結果、0 となったもの

「△」 ……負数

「(空白)」 …該当なし

管 理

1 平成30年度消防行政の推進

西日本を中心に多くの河川の氾濫や土砂崩れ等を引き起こした「平成30年7月豪雨」は、死者200人を超え「平成最悪の水害」とも報道されるなど各地に甚大な被害をもたらしました。当本部も緊急消防援助隊として、救助隊1隊を広島県に派遣し、現地での災害活動にあたりました。

養父市、朝来市においても、記録的な雨量を観測し、初めて大雨特別警報が発令されました。幸い、管内に大きな人的被害はなかったものの、大雨に伴う土砂崩れ等により、幹線道路が通行止めになるなど主要交通機関に大きな影響が出ました。

このような状況の中、毎年行っている兵庫県消防防災航空隊との合同訓練では、初めて豪雨災害や湖川等での水難事故を想定した水難救助訓練を行い、水災害における防災ヘリとの連携強化を図りました。また、水難救助資器材を更新し、水災害に対する充実強化を図りました。

なお、「地域の安全・安心を守る」という基本理念の基に定めた当該年度の重点推進事項は、次のとおりです。

- (1) 防火対象物や危険物施設の防火・保安体制確立
- (2) 住宅防火対策及び災害弱者対策の推進
- (3) 災害現場対応力の向上
- (4) 風通しの良い職場づくり

2 平成30年度当初予算

平成30年度当初予算の総額は1,013,751千円で前年と比較すると9,405千円の増となっています。



このうち人件費は767,298千円で歳出予算総額の75.7%を占めています。また、消防施設や資機材などを整備する消防施設整備事業費は160,122千円で15.8%を占め、前年と比較すると2,911千円の減となっています。主な事業として、朝来消防署の水槽付ポンプ車及び生野出張所のポンプ車、大屋出張所の高規格救急車の更新を行いました。

予 防

1 防火対象物の状況

平成30年度末の防火対象物は総数3,095棟で、市別では養父市1,473棟、朝来市1,622棟となっています。用途別では「その他の事業所」が717棟と最も多く約23%を占めており、続いて「工場等」(495棟)、「共同住宅等」(331棟)となっています。

また、これら多くの人が利用する様々な防火対象物に立ち入り、防火管理や消防用設備等の維持管理を検査する予防査察件数は737件(棟数)で、防火安全上の不備欠陥事項がある対象物の関係者に対し改修等を指導しています。

2 危険物施設の状況

平成30年度末の危険物施設数は総数315施設で、市別では養父市163施設、朝来市152施設となっています。施設区分別では「地下タンク貯蔵所」が97施設と最も多く約31%を占めており、続いて「一般取扱所」(59施設)、「給油取扱所」(51施設)となっています。

また、危険物施設の保安状況を検査する立入検査回数は235回で、全施設の約75%に実施し、危険物施設が技術上の基準に適合し、適切に維持管理されるよう指導しています。

3 自主防災組織の育成

管内それぞれの地域の自主防災体制を強化するため、両市内で地域に根ざした自主防災組織の育成に協力しています。



養父市内には保育園児と小学生及び地域の女性からなる「養父市幼少年婦人防火委員会」が設立されており、防火研修や救急講習会など多彩な行事を通じて防災思想の普及啓蒙を重点に活動しています。

(左)伊佐小学校少年消防クラブ員救急教室の様子

(下)朝来市自主防災推進協議会での防災講演会の様子

また、朝来市内には事業所等と市内全地区を会員とした「朝来市自主防災推進協議会」が設立されており、防災講演会や春・秋の火災予防運動への活動助成を通じて地域ぐるみで自主防災に取り組んでいます。



火 災

平成30年中の出火件数は26件で、前年(20件)と比較すると6件の増加となっています。

火災種別でみると、建物火災が10件、車両火災が3件、その他の火災が13件となっています。

地域別の発生状況をみると、朝来市内の出火件数は21件で、その内訳は、建物火災が8件、車両火災が2件、その他の火災が11件となっています。

養父市内の出火件数は5件で、その内訳は、建物火災が2件、車両火災が1件、その他の火災が2件となっています。

火災の損害は37,389千円で、前年と比較すると43,203千円減額しています。

死傷者をみると、建物火災で死者が2名、負傷者が2名、その他の火災で負傷者が4名発生しています。



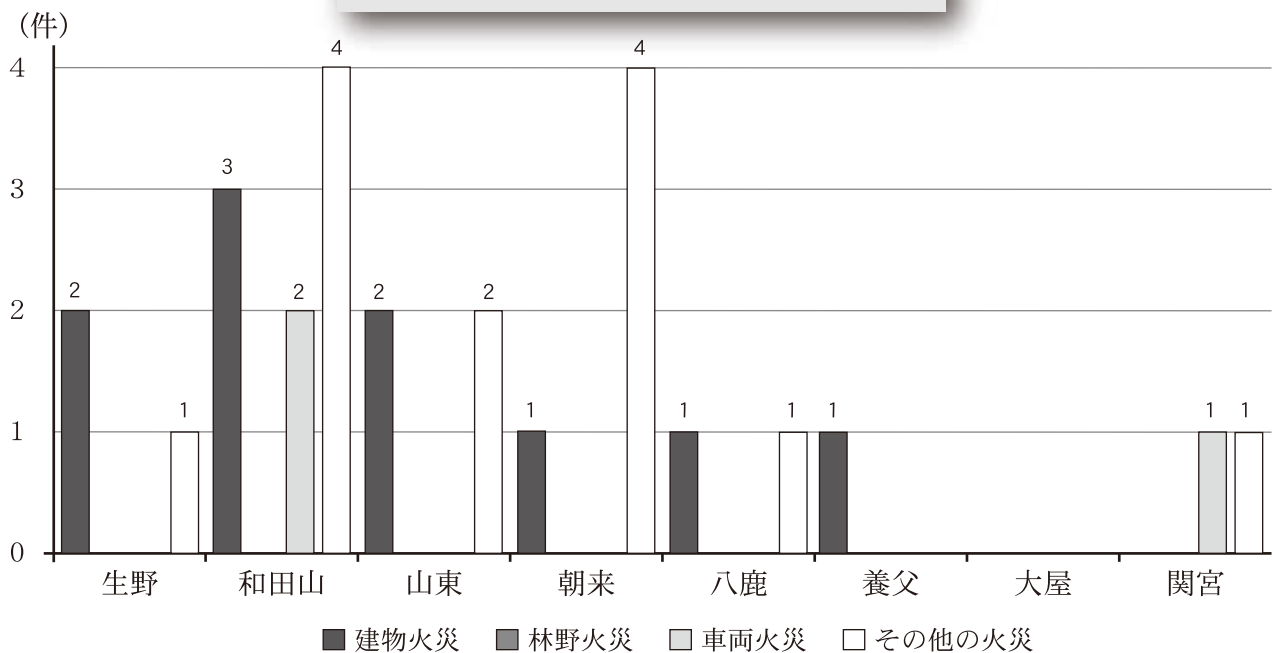
火災の状況

区 分		平 成 3 0 年	平 成 2 9 年	比 較 増 減
出 火 件 数	総 数	26	20	6
	建 物 火 災	10	14	△4
	林 野 火 災		1	△1
	車 両 火 災	3	1	2
	そ の 他 の 火 災	13	4	9
焼 損 棟 数	総 数	12	17	△5
	全 焼	3	5	△2
	半 焼		1	△1
	部 分 焼	1	4	△3
	ぼ や	8	7	1
焼 損 面 積	建 物 (m ²)	1,019	633	386
	林 野 (a)		13	△13
損 害 額 (千円)	総 数	37,389	80,592	△43,203
	建 物	34,810	26,632	8,178
	林 野		238	△238
	車 両	2,514	53,068	△50,554
	そ の 他	65	654	△589
り 災 世 帯 数		5	6	△1
り 災 人 員		13	17	△4
死 者		2	1	1
負 傷 者		6	8	△2

地域別の状況

区 分		総 数	朝 来 市					養 父 市				
			小計	生 野	和田山	山 東	朝 来	小計	八 鹿	養 父	大 屋	関 宮
出 火 件 数	総 数	26	21	3	9	4	5	5	2	1		2
	建 物 火 災	10	8	2	3	2	1	2	1	1		
	林 野 火 災											
	車 両 火 災	3	2		2			1				1
	その他の火災	13	11	1	4	2	4	2	1			1
焼 損 棟 数	総 数	12	10	2	4	2	2	2	1	1		
	全 焼	3	3		2		1					
	半 焼											
	部 分 焼	1	1	1								
	ぼ や	8	6	1	2	2	1	2	1	1		
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	1,019	1,019	243	489		287					
	林 野 (a)											
損 害 額 (千 円)		37,389	37,341	6,495	22,213	199	8,434	48	1	8		39
り 災 世 帯 数		5	5		3		2					
り 災 人 員		13	13		5		8					
死 者		2	2		1		1					
負 傷 者		6	5		1	2	2	1	1			

地域別・火災種別出火件数



救 急

平成30年中の救急件数は3,096件、搬送人員は2,792人で、前年(3,144件、2,854人)と比較すると件数で48件の減少、人員で62人の減少となっています。

事故種別でみると、急病が1,931件で最も多く、次いで一般負傷492件、転院搬送265件、交通事故210件と続いています。

朝来市内の救急件数は1,596件、養父市内の救急件数は1,500件、管外が0件となっています。

地域別の救急件数は、朝来市内は、生野254件、和田山824件、山東236件、朝来282件となっており、養父市内は、八鹿629件、養父359件、大屋267件、関宮245件となっています。



救急の状況

区 分	平成30年		平成29年		比較増減
	件 数	比 率(%)	件 数	比 率(%)	
総 数	3,096	100	3,144	100	△48
火 災	5	0.2	9	0.3	△4
自 然 災 害			1	0.1	△1
水 難 事 故	1	0.1	8	0.3	△7
交 通 事 故	210	6.8	217	6.9	△7
労 働 災 害	15	0.5	40	1.3	△25
運 動 競 技	20	0.6	21	0.7	△1
一 般 負 傷	492	15.9	544	17.3	△52
加 害	9	0.3	3	0.1	6
自 損 行 為	25	0.8	13	0.4	12
急 病	1,931	62.2	1,833	58.1	98
転 院 搬 送	265	8.6	315	10.0	△50
そ の 他	123	4.0	140	4.5	△17

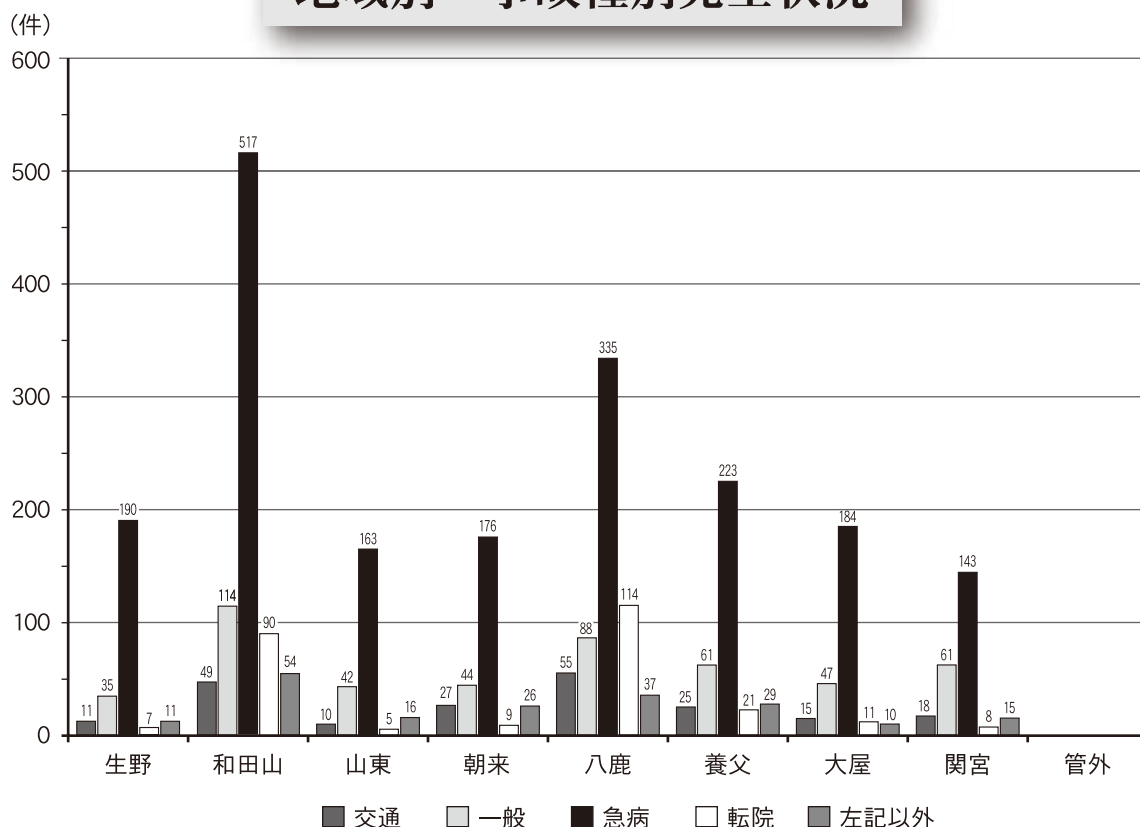
※その他とは、上記以外のもの。(例)医師搬送など。

地域別の状況

(単位:件)

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市					管外
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総 数	3,096	1,596	254	824	236	282	1,500	629	359	267	245	
火 災	5	4		1	1	2	1	1				
自 然 災 害												
水 難 事 故	1	1				1						
交 通 事 故	210	97	11	49	10	27	113	55	25	15	18	
労 働 災 害	15	9	3	4	1	1	6	2	3		1	
運 動 競 技	20	11	3	4	1	3	9	4			5	
一 般 負 傷	492	235	35	114	42	44	257	88	61	47	61	
加 害	9	5		5			4	2		1	1	
自 損 行 為	25	17	2	10		5	8	4	3		1	
急 病	1,931	1,046	190	517	163	176	885	335	223	184	143	
転 院 搬 送	265	111	7	90	5	9	154	114	21	11	8	
そ の 他	123	60	3	30	13	14	63	24	23	9	7	

地域別・事故種別発生状況



救 助

平成30年中の救助件数は63件で、前年(67件)と比較すると4件の減少となっています。

事故種別でみると、交通事故が24件、建物等による事故が5件、自然災害が4件、火災・水難事故が各2件、その他の事故が26件となっています。

地域別の出動状況をみると、朝来市内は生野2件、和田山18件、山東2件、朝来5件、養父市内は八鹿17件、養父6件、大屋8件、関宮5件となっています。

救助隊が救助活動を行った件数は44件で、54人を救助しました。



救助の状況

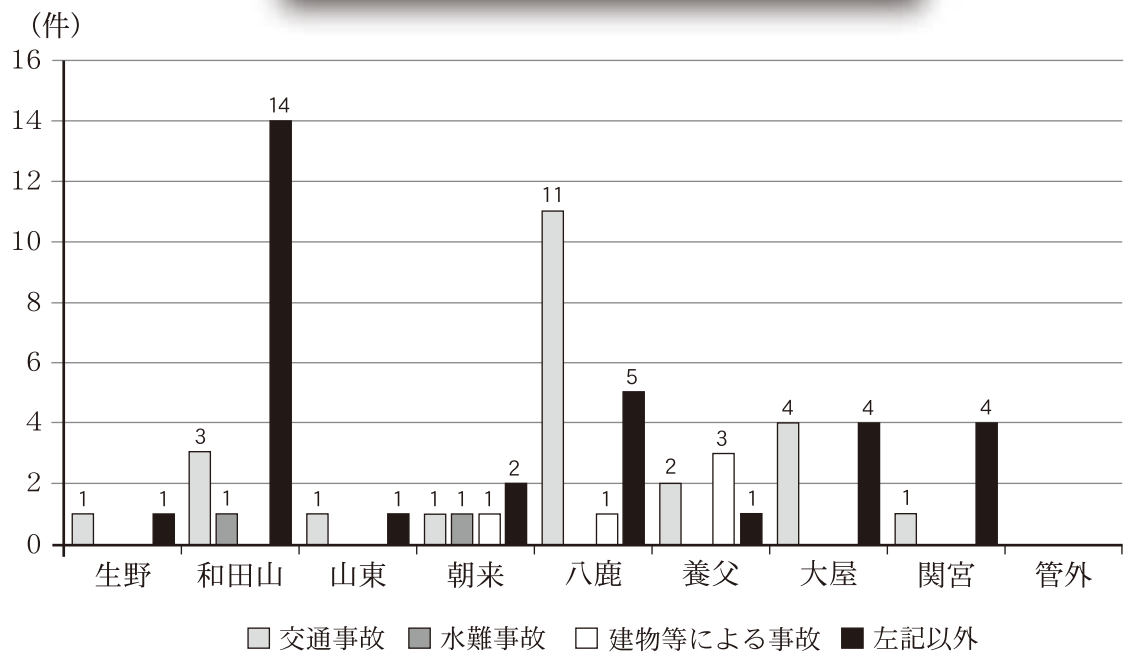
区 分	平成30年	平成29年	比 較 増 減
	件 数	件 数	
総 数	63	67	△ 4
火 災	2		2
交 通 事 故	24	36	△12
水 難 事 故	2	6	△ 4
自 然 災 害	4		4
機 械 に よ る 事 故			
建 物 等 に よ る 事 故	5	2	3
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故			
破 裂 事 故			
そ の 他 の 事 故	26	23	3

地域別の状況

(単位:件)

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市					管外
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総 数	63	27	2	18	2	5	36	17	6	8	5	
火 災	2	2		1		1						
交 通 事 故	24	6	1	3	1	1	18	11	2	4	1	
水 難 事 故	2	2		1		1						
自 然 災 害	4	3		3			1	1				
機械による事故												
建物等による事故	5	1				1	4	1	3			
ガス及び酸欠事故												
破 裂 事 故												
その他の事故	26	13	1	10	1	1	13	4	1	4	4	
救助活動件数	44	20		15	1	4	24	13	3	6	2	
救 助 人 員	54	21		16	1	4	33	20	3	7	3	

地域別・事故種別発生状況



通 信

平成30年中の119番受信件数は3,699件で、その内訳は緊急通報が2,839件、緊急外通報が860件となっています。

前年と比較すると、緊急通報で3件、緊急外通報で98件の増加となっています。

また、携帯電話からの119番通報は1,355件で、前年と比較すると161件の増加となっています。



通信の状況

(単位:件)

区 分		平成 29 年	うち、 携帯 電話	平成 30 年	うち、 携帯 電話	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
総 数		3,598	1,194	3,699	1,355	305	316	290	294	321	283	365	307	240	345	340	293
緊急 通報	火災通報	15	11	23	12	2	3	5	3	3		1	4	1		1	
	救急通報	2,591	838	2,572	899	235	236	214	187	188	188	263	221	190	240	198	212
	病院紹介	65	34	48	33	3	6	3	3	5	3	4	10	3	3	3	2
	台風関連 第2報等	127	69	149	91	18	17	16	9	10	14	20	14	5	11	10	5
	ガス漏検 誤報等	38	12	47	13	3	7	2	4	6		5	3	1	7	5	4
	計	2,836	964	2,839	1,048	261	269	240	206	212	205	293	252	200	261	217	223
緊急 外通報	通報訓練	305	20	304	15	9	26	21	21	22	29	27	13	14	41	50	31
	間 違 い	94	46	117	60	13	4	7	6	15	13	9	9	6	12	10	13
	いたずら	4	2	1												1	
	問 合 せ	83	35	111	53	8	1	7	15	12	7	19	16	6	8	7	5
	そ の 他	276	127	327	179	14	16	15	46	60	29	17	17	14	23	55	21
	計	762	230	860	307	44	47	50	88	109	78	72	55	40	84	123	70

統計資料編

管 理 編

管
理
編

平成 30 年度予算状況

(単位:千円)

性質別等		当初予算額	補正予算額	現計予算額	比 率 (%)
歳入	総 計	1,013,751	7,617	1,021,368	100.0
	分 担 金	863,334	347	863,681	84.6
	使用料・手数料	901	0	901	0.1
	国 県 支 出 金	0	0	0	0.0
	繰 入 金	0	0	0	0.0
	繰 越 金	0	12,570	12,570	1.2
	地 方 債	147,700	△5,300	142,400	13.9
	諸 収 入 他	1,816	0	1,816	0.2
歳出	総 計	1,013,751	7,617	1,021,368	100.0
	人 件 費	767,298	1,000	768,298	75.2
	物 件 費	74,138	0	74,138	7.3
	建 設 事 業 費	160,122	6,617	166,739	16.3
	維 持 補 修 費	3,709	0	3,709	0.4
	補 助 費 等	8,484	0	8,484	0.8
	公 債 費	0	0	0	0.0

平成 30 年度職員給与費の実態

職員給与

(単位:千円)

職員数 (A)	平成30年度給与費				一人当たりの給与費 (B)/(A)
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
98	341,957	113,553	136,172	591,682	6,038

初任給の状況(高校卒)

	消防職	一般行政職	国
初任給	1 級 8 号給	1 級 5 号給	1 級 5 号俸
金 額	151,900円	148,600円	148,600円

階級別勤続年数

(H31.3.31現在)

階級 勤続年数	総数	消 防 司令長	消防 司令	消 防 司令補	消防 士長	消 防 副士長	消防士
総 数	98	1	25	31	12	11	18
1 年 未 満	6						6
1 年～ 5 年	24				2	10	12
6 年～10年	11			3	7	1	
11年～15年	7		1	4	2		
16年～20年	10			10			
21年～25年	12		1	11			
26年～30年	10		7	3			
31年～35年	5		5				
3 6 年 以 上	13	1	11		1		

年齢別職員構成

(H31.3.31現在)

階級 年齢区分	総数	消 防 司令長	消防 司令	消 防 司令補	消防 士長	消 防 副士長	消防士
総 数	98	1	25	31	12	11	18
2 0 歳 以 下	5						5
21歳～25歳	13					3	10
26歳～30歳	18				7	8	3
31歳～35歳	9			5	4		
36歳～40歳	9			9			
41歳～45歳	15			15			
46歳～50歳	7		5	2			
51歳～55歳	8		8				
5 6 歳 以 上	14	1	12		1		

研修派遣状況

(単位:人)

階 級 研修科目	総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総 数	25		3	4	3	3	12
《 兵 庫 県 消 防 学 校 》	22		2	3	2	3	12
初 任 教 育	5						5
警 防 科	1				1		
特 殊 災 害 科	1			1			
危 険 物 科	1				1		
火 災 調 査 科	1			1			
救 急 科	5						5
救 助 科	1					1	
中 級 幹 部 科	1		1				
救 急 救 命 士 養 成 課 程	1			1			
救 急 救 命 士 追 加 講 習 (ビデオ喉頭鏡追加講習)	1						1
惨 事 ス ト レ ス 研 修	1		1				
通 信 担 当 者 研 修	2					1	1
山岳用救助器具取扱技術研修	1					1	
《 兵 庫 県 自 治 研 修 所 》	2		1	1			
管 理 職 研 修	1		1				
監 督 職 研 修	1			1			
《 市 町 等 職 員 職 場 研 修 》	1				1		
兵庫消防学校研修教官	1				1		

階級別資格取得状況

(H31.3.31現在)

階 級 資 格		総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
運 転 免 許	大 型	78		21	28	10	10	9
	普 通	98	1	25	31	12	11	18
危険物取扱者（甲種）		1			1			
危険物取扱者（乙種）		79	1	23	28	9	9	9
消防設備士（乙種）		14		9	3	1		1
救急救命士資格		39	1	15	17	3	1	2
気管挿管認定		32	1	12	16	2		1
薬剤投与認定		35	1	12	17	3	1	1
応急手当指導員		92	1	25	31	12	11	12
救助隊員資格（1号）		43		11	24	6	2	
小型船舶操縦士		19		2	12	2	1	2
玉掛技能者		43		4	18	9	6	6
移動式クレーン		43		4	18	9	6	6
安全衛生推進者		3		3				
予防技術資格者		13		6	6	1		

平成 29 年度一般会計決算の概要

(歳入)

(単位:千円)

科 目	予算現額(A)	収入済額(B)	比較(B - A)
歳 入 合 計	1,001,503	996,658	△4,845
分 担 金 及 び 負 担 金	868,238	862,289	△5,949
使 用 料 ・ 手 数 料	801	1,577	776
地 方 債	131,000	131,000	0
諸 収 入	1,464	1,792	328

(歳出)

科 目	予算現額(A)	支出済額(B)	比較(A - B)
歳 出 合 計	1,001,503	982,452	19,051
常 備 消 防 費	843,113	837,025	6,088
消 防 施 設 費	158,390	145,427	12,963

歳 入 総 額	996,658千円
歳 出 総 額	982,452千円
歳入歳出差引残額	14,206千円

消防相互応援協定等の締結状況

(平成31年 3 月31日現在)

締 結 年 月 日	内 容
平成 2 5 年 4 月 1 日	豊岡市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	美方郡広域事務組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	姫路市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	丹波市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	西はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	鳥取県東部広域行政管理組合消防局と消防相互応援に関する協定(新規)
平成 2 5 年 4 月 1 日	福知山市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	兵庫県道路公社、姫路市と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	国土交通省豊岡河川国道事務所、兵庫県道路公社、丹波市と北近畿豊岡自動車道春日ジャンクション・インターチェンジから八鹿氷ノ山インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成 2 7 年 2 月15日	朝来市消防団との消防活動に関する覚書(改定)
平成 2 7 年 2 月15日	養父市及び養父市消防団との現場活動等に関する覚書(新規)
平成 2 9 年 1 月13日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 9 年 3 月25日	国土交通省豊岡河川国道事務所、豊岡市と北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山インターチェンジから日高神鍋高原インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定(新規)
平成 3 1 年 3 月26日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)

予 防 編

防火対象物の概要（地域別・中高層建物）

（H31.3.31現在）

用 途 別		防 火 対 象 物									3 階 以 上 対 象 物								
		総数	朝 来 市				養 父 市				総数	朝 来 市				養 父 市			
			生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮		生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮
総 数		3,095	214	912	273	223	627	340	248	258	393	28	122	25	13	111	25	8	61
1	イ 映 画 館 等	2	1	1							2	1	1						
	ロ 集 会 場 等	189	9	38	23	20	31	20	20	28	7		4		1	1	1		
2	イ キャバレー等																		
	ロ 遊 技 場 等	3		2			1												
	ニ カラオケボックス等																		
3	イ 料 理 店 等																		
	ロ 飲 食 店 等	67	2	26	6	1	8	14	4	6	4		1	1		2			
4	店 舗 等	144	6	70	10	14	18	19	1	6	6		4			2			
5	イ 旅館・ホテル等	127	5	16	11	7	9	4	6	69	52		8	1		1	1	1	40
	ロ 共 同 住 宅 等	331	27	149	31	18	55	35	6	10	86	8	27	10	1	27	8		5
6	イ 病 院 等	43	2	16	2	5	12	5		1	8		2		4	2			
	ロ グループホーム等	41	3	7	6	7	4	4	8	2	4		1		1	1			1
	ハ デイサービス・保育所	95	7	23	11	11	19	12	9	3	2				1		1		
	ニ 幼 稚 園 等	6		5		1					2		2						
7	学 校 等	107	18	17	7	6	44	7	4	4	38	6	11	2	1	11	2	2	3
8	図 書 館 等	17	6	3	1	2		1	4		1		1						
9	イ サウナ風呂等																		
	ロ 公 衆 浴 場 等	5		1	1		1		1	1									
10	車両の停車場	4	1	1			1	1			1		1						
11	神社・寺院等	95	12	9	3	2	20	24	11	14	1	1							
12	イ 工 場 等	495	39	158	47	40	97	56	34	24	24	6	4	1	1	6	3		3
	ロ 映画スタジオ等	3				1	1			1									
13	イ 駐 車 場 等	44	1	12	4	6	11	3	2	5									
14	倉 庫	269	24	88	31	17	60	24	12	13	9	1	1	2		5			
15	その他の事業所	717	40	168	57	50	155	79	115	53	70	3	24	5	1	20	7	4	6
16	イ 複合用途(特定)	157	2	57	10	5	48	17	7	11	45	1	19	2	1	19	1	1	1
	ロ 複合用途(非特定)	109	6	44	6	4	25	14	4	6	30	1	11	1	1	13	1		2
17	文化財建造物	25	3	1	6	6	7	1		1	1					1			

防火対象物の概要（査察件数・防火管理者・消防計画）

（H31.3.31現在）

用 途 別		査 察 件 数			防 火 管 理 者									消 防 計 画					
					対 象 数			選 任 数			選任率(%)			計 画 届 出 数			届 出 率 (%)		
		総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市
総 数		737	390	347	794	389	405	713	349	364	90	90	90	683	341	342	86	88	84
1	イ 映 画 館 等	2	2		2	2		2	2		100	100		2	2		100	100	
	ロ 集 会 場 等	32	17	15	177	84	93	117	53	64	66	63	69	113	53	60	64	63	65
2	イ キャバレー等																		
	ロ 遊 技 場 等	3	2	1	3	2	1	3	2	1	100	100	100	3	2	1	100	100	100
	ニ カラオケボックス等																		
3	イ 料 理 店 等																		
	ロ 飲 食 店 等	50	20	30	56	27	29	52	24	28	93	89	97	47	23	24	84	85	83
4	店 舗 等	81	59	22	91	57	34	88	56	32	97	98	94	87	55	32	96	96	94
5	イ 旅館・ホテル等	195	71	124	89	20	69	89	20	69	100	100	100	88	19	69	99	95	100
	ロ 共 同 住 宅 等	3		3	16	10	6	15	10	5	94	100	83	15	10	5	94	100	83
6	イ 病 院 等	22	11	11	17	12	5	16	11	5	94	92	100	16	11	5	94	92	100
	ロ グループホーム等	42	21	21	27	16	11	27	16	11	100	100	100	26	15	11	96	94	100
	ハ デイサービス・保育所	47	29	18	62	30	32	59	30	29	95	100	91	59	30	29	95	100	91
	ニ 幼 稚 園 等	6	6		1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
7	学 校 等	7	2	5	34	17	17	34	17	17	100	100	100	34	17	17	100	100	100
8	図 書 館 等	6	5	1	11	8	3	10	8	2	91	100	67	10	8	2	91	100	67
9	イ サウナ風呂等																		
	ロ 公 衆 浴 場 等	2		2	5	2	3	5	2	3	100	100	100	5	2	3	100	100	100
10	車両の停車場																		
11	神社・寺院等	16	10	6	4	1	3	4	1	3	100	100	100	4	1	3	100	100	100
12	イ 工 場 等	50	33	17	30	21	9	28	20	8	93	95	89	26	20	6	87	95	67
	ロ 映画スタジオ等				1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
13	イ 駐 車 場 等	5	4	1															
14	倉 庫	17	14	3	3	2	1	3	2	1	100	100	100	3	2	1	100	100	100
15	その他の事業所	77	45	32	82	36	46	77	33	44	94	92	96	72	31	41	88	86	89
16	イ 複合用途(特定)	57	30	27	73	35	38	72	35	37	99	100	97	64	34	30	88	97	79
	ロ 複合用途(非特定)	8	6	2	7	4	3	7	4	3	100	100	100	5	3	2	71	75	67
17	文化財建造物	9	3	6	3	1	2	3	1	2	100	100	100	2	1	1	67	100	50

確認申請処理状況

(H31.3.31現在)

種 別	総数	朝来市	養父市	同意	朝来市	養父市	指導による同意	朝来市	養父市	不同意	朝来市	養父市
総 数	49	31	18	19	11	8	30	20	10			
《工 事 別》												
新 築	44	26	18	19	11	8	25	15	10			
増 築	1	1					1	1				
改 築												
移 転												
修 繕												
模 様 替												
用途変更	4	4					4	4				
《構 造 別》												
耐火構造	1		1				1		1			
準耐火構造	9	6	3	3	3		6	3	3			
そ の 他	39	25	14	16	8	8	23	17	6			

消防教室実施状況

(H31.3.31現在)

実施区分		対 象 数			参加人員			時 間			消防職員		
		総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市
総 数		262	137	125	13,823	7,272	6,551	315:30	156:15	159:15	810	390	420
地 区		31	19	12	1,670	786	884	25:40	16:55	8:45	61	36	25
婦 人 ク ラ ブ		2		2	18		18	2:20		2:20	3		3
老 人 ク ラ ブ		1	1		270	270		1:30	1:30		1	1	
P T A		19	9	10	754	356	398	28:20	11:05	17:15	39	18	21
学 校		63	33	30	5,117	2,919	2,198	82:25	44:45	37:40	227	144	83
幼・保 育 所		37	26	11	1,914	1,326	588	42:55	30:40	12:15	138	87	51
事業所	公共施設	17	9	8	386	166	220	19:15	11:25	7:50	34	18	16
	病院・福祉施設	31	20	11	1,369	826	543	24:45	19:10	5:35	67	43	24
	旅館・ホテル	5	1	4	82	16	66	7:30	1:30	6:00	11	2	9
	店 舗 等	12	5	7	276	152	124	6:10	3:30	2:40	26	12	14
	工 場 等	19	13	6	551	418	133	21:30	14:15	7:15	39	27	12
消 防 団		22		22	856		856	43:10		43:10	146		146
そ の 他		3	1	2	560	37	523	10:00	1:30	8:30	18	2	16

※普通救命講習会は含まない。(57頁参照)

危険物施設数及び立入検査回数

(H31.3.31現在)

危険物施設		総 数	朝 来 市					養 父 市					立入検査 回数	
			小 計	生 野	和 田 山	山 東	朝 来	小 計	八 鹿	養 父	大 屋	関 宮	朝 来 署	養 父 署
総 数		315	152	38	69	27	18	163	66	27	12	58	119	116
製 造 所		3	2	2				1		1			2	2
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	33	19	8	8	2	1	14	9	2	2	1	19	14
	屋外タンク貯蔵所	34	26	10	8	5	3	8	3			5	29	7
	屋内タンク貯蔵所	15	5	3	1	1		10	7	1		2	5	10
	地下タンク貯蔵所	97	32	4	19	6	3	65	16	8	3	38	6	35
	簡易タンク貯蔵所	1	1			1								
	移動タンク貯蔵所	18	9	1	2	3	3	9	5	3		1	9	9
	屋 外 貯 蔵 所	4	4	2	2								2	
取 扱 所	給 油 取 扱 所	51	23	2	12	5	4	28	15	6	3	4	38	25
	一 般 取 扱 所	59	31	6	17	4	4	28	11	6	4	7	9	14

危険物施設設置許可及び変更許可の状況

(H31.3.31現在)

危 険 物 施 設	総 数	変 更 許 可										設 置 許 可	
		構 造 に 関するもの		付 属 機 器 に 関するもの		配 管 に 関するもの		タンクに 関するもの		そ の 他			
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総 数	27	2	1	12	3	1	1	1	2	2		1	1
製 造 所	3			3									
屋 内 貯 蔵 所	2			1									1
屋外タンク貯蔵所	1			1									
屋内タンク貯蔵所													
地下タンク貯蔵所	2								2				
簡易タンク貯蔵所													
移動タンク貯蔵所	2									2			
屋 外 貯 蔵 所													
給 油 取 扱 所	6		1	1	2		1	1					
一 般 取 扱 所	11	2		6	1	1						1	

市別・数量別危険物施設数

(H31.3.31現在)

危険物施設	総 数	5倍以下		5倍を超え 10倍以下		10倍を超え 50倍以下		50倍を超え 100倍以下		100倍を超え 200倍以下		200倍を 超えるもの	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総 数	315	70	49	31	40	29	54	5	9	10	7	7	4
製 造 所	3					1		1	1				
貯 蔵 所	202	53	34	21	33	19	36	1	3	2			
屋内貯蔵所	33	11	5	5	5	2	2		2	1			
屋外タンク貯蔵所	34	7	2	6		11	6	1		1			
屋内タンク貯蔵所	15	2	4	3	6								
地下タンク貯蔵所	97	21	14	7	22	4	28		1				
簡易タンク貯蔵所	1	1											
移動タンク貯蔵所	18	9	9										
屋 外 貯 蔵 所	4	2				2							
取 扱 所	110	17	15	10	7	9	18	3	5	8	7	7	4
給油取扱所(営業用)	33		1					2	4	8	7	7	4
給油取扱所(自家用)	18	3			2	3	10						
一 般 取 扱 所	59	14	14	10	5	6	8	1	1				

市別・類別危険物施設数

(H31.3.31現在)

危険物施設	総 数	1 類		2 類		3 類		4 類		5 類		6 類		混 在	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総 数	315				1			150	158	1	2			1	2
製 造 所	3							2							1
貯 蔵 所	202				1			95	103		2			1	
屋内貯蔵所	33				1			18	11		2			1	
屋外タンク貯蔵所	34							26	8						
屋内タンク貯蔵所	15							5	10						
地下タンク貯蔵所	97							32	65						
簡易タンク貯蔵所	1							1							
移動タンク貯蔵所	18							9	9						
屋 外 貯 蔵 所	4							4							
取 扱 所	110							53	55	1					1
給油取扱所(営業用)	33							17	16						
給油取扱所(自家用)	18							6	12						
一 般 取 扱 所	59							30	27	1					1

各種届出等受理状況

(H31.3.31現在)

届 出 別		総 数	朝 来 市	養 父 市
防火管理者選任(解任)届出書		131	75	56
消防計画届出書		193	112	81
消防用設備等着工届出書		61	30	31
消防用設備等工事計画届出書		37	20	17
消防用設備等設置届出書		181	91	90
消防用設備等緩和願		4	2	2
消防用設備等点検結果報告書		534	291	243
防火対象物定期点検結果報告書		58	36	22
防火自主点検結果報告書				
防火対象物使用開始届出書		67	39	28
火を使用する 設 備 等 の 設 置 届 出 書	熱風炉			
	炉・かまど	3	2	1
	ボイラー・給湯湯沸設備	16	11	5
	乾燥設備	9	6	3
	サウナ設備			
	温風暖房機	4		4
電 気 設 備 設 置 届 出 書	変電設備	19	12	7
	発電設備	6	5	1
	蓄電池設備	4		4
	ネオン管灯設備			
劇場等の裸火使用許可申請書		13	12	1
総 数		1,340	744	596

警 防 編

警
防
編

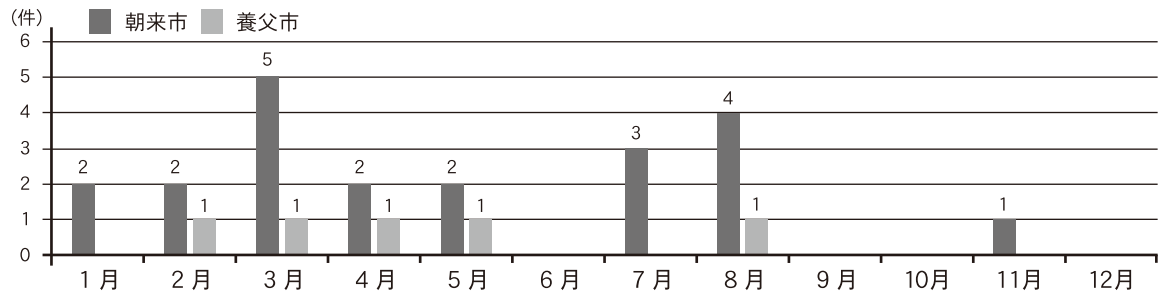
年次別火災発生状況

区 分		年 別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
出 火 件 数	総 数		32	31	29	20	26
	朝 来 市	小 計	19	18	19	10	21
		建 物 火 災	10	9	6	6	8
		林 野 火 災	1	1	1	1	
		車 両 火 災		1	2	1	2
		その他の火災	8	7	10	2	11
	養 父 市	小 計	13	13	10	10	5
		建 物 火 災	4	8	3	8	2
		林 野 火 災			1		
		車 両 火 災	2	1	1		1
		その他の火災	7	4	5	2	2
焼 損 棟 数	総 数		23	26	10	17	12
	朝 来 市	小 計	11	10	7	8	10
		全 焼	3	3	3	3	3
		半 焼	1			1	
		部 分 焼	5	5	2	1	1
		ば や	2	2	2	3	6
	養 父 市	小 計	12	16	3	9	2
		全 焼	9	8		2	
		半 焼		1			
		部 分 焼		4		3	
		ば や	3	3	3	4	2
焼 損 面 積	総 数	建 物【㎡】	1,466	5,824	652	633	1,019
		林 野 (a)	34	3	34	13	
	朝 来 市	建 物【㎡】	423	4,001	652	317	1,019
		林 野 (a)	34	3	10	13	
	養 父 市	建 物【㎡】	1,043	1,823		316	
		林 野 (a)			24		

区 分		年 別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
り 災 世 帯	総 数		9	12	8	6	5
	朝 来 市	小 計	6	2	5	2	5
		全 損	1	1	2	1	2
		半 損					
		小 損	5	1	3	1	3
	養 父 市	小 計	3	10	3	4	
		全 損	1	3		1	
		半 損					
		小 損	2	7	3	3	
り 災 人 員	総 数		20	32	11	17	13
	朝 来 市		12	4	7	5	13
	養 父 市		8	28	4	12	
損 害 額 (千円)	総 額		59,814	440,766	27,232	80,592	37,389
	朝 来 市	小 計	12,445	403,435	25,851	65,116	37,341
		建 物	11,212	401,050	25,612	11,156	34,801
		林 野	453			238	
		車 両	2	2,384	238	53,068	2,475
		そ の 他	778	1	1	654	65
	養 父 市	小 計	47,369	37,331	1,381	15,476	48
		建 物	46,318	37,079	28	15,476	9
		林 野			440		
		車 両	1,046	250	870		39
		そ の 他	5	2	43		
死 傷 者	総 数	死 者	1	4	1	1	2
		負 傷 者	5	7	3	8	6
	朝 来 市	死 者	1		1		2
		負 傷 者	2	4	2		5
	養 父 市	死 者		4		1	
		負 傷 者	3	3	1	8	1

月別火災発生状況

種 別 \ 月 別		総 数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
総 数		26	2	3	6	3	3		3	5			1	
朝 来 市	小 計	21	2	2	5	2	2		3	4			1	
	建物火災	8	2		2		1		2	1				
	林野火災													
	車両火災	2		1			1							
	その他の火災	11		1	3	2			1	3			1	
養 父 市	小 計	5		1	1	1	1			1				
	建物火災	2		1		1								
	林野火災													
	車両火災	1					1							
	その他の火災	2			1					1				

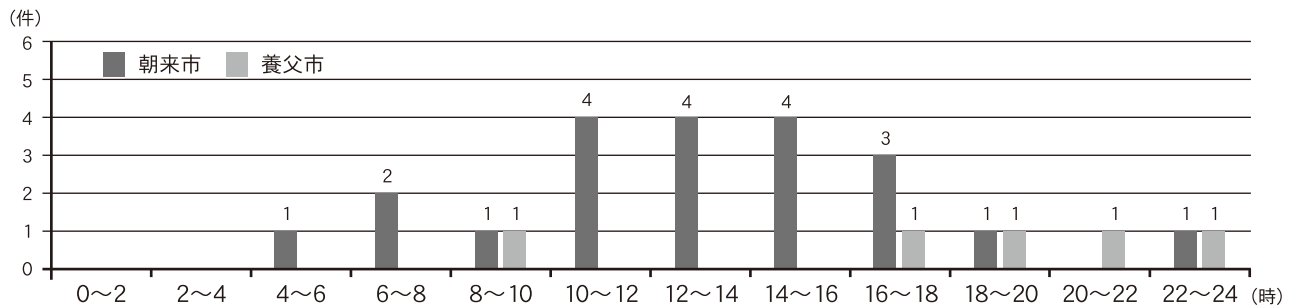


曜日別火災発生状況

種 別 \ 曜日別		総 数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総 数		26	1		5	3	8	2	7
朝 来 市	小 計	21	1		5	2	7	2	4
	建物火災	8			2	1	4		1
	林野火災								
	車両火災	2			1	1			
	その他の火災	11	1		2		3	2	3
養 父 市	小 計	5				1	1		3
	建物火災	2							2
	林野火災								
	車両火災	1				1			
	その他の火災	2					1		1

時間別火災発生状況

時間別 種 別		総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		26			1	2	2	4	4	4	4	2	1	2
朝 来 市	小 計	21			1	2	1	4	4	4	3	1		1
	建物火災	8			1	1	1			1	2	1		1
	林野火災													
	車両火災	2				1				1				
	その他の火災	11						4	4	2	1			
養 父 市	小 計	5					1				1	1	1	1
	建物火災	2										1	1	
	林野火災													
	車両火災	1												1
	その他の火災	2					1				1			



使用した消防水利

消防水利	平成30年					平成29年
	総 数	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	
総 数	16	4		2	10	11
自然水利	1				1	3
防火水槽	4	2		1	1	1
消 火 栓	8	2			6	6
積載水等	3			1	2	1

(事後聞知1件及び、放水なしの9件は除く)

覚知から現場到着までの所要時間

時間別 地区別		総 数	5分未満	5～10分	11～15分	16～20分	20分以上	平均(分)
総 数		25		9	12	1	3	12.7
朝 来 市	小 計	20		7	10	1	2	12.9
	生 野	3		2			1	16.7
	和 田 山	9		3	6			11.2
	山 東	3		1	1		1	14.7
	朝 来	5		1	3	1		12.6
養 父 市	小 計	5		2	2		1	12
	八 鹿	2		2				9
	養 父	1			1			11
	大 屋							
	関 宮	2			1		1	15.5

(事後聞知 1 件除く)

放水開始から鎮火までの所要時間

時間別 地区別		総 数	5分以内	6分～10分	11分～20分	21分～30分	31分～40分	41分～50分	51分～60分	61分以上	平均(分)
総 数		16	1	3	6		3	1		2	26.1
朝 来 市	小 計	14	1	2	6		2	1		2	26.7
	生 野	2		1	1						10
	和 田 山	8	1	1	4		1			1	22
	山 東	1					1				31
	朝 来	3			1			1		1	49
養 父 市	小 計	2		1			1				21.5
	八 鹿	1		1							7
	養 父										
	大 屋										
	関 宮	1					1				36

(事後聞知 1 件及び、放水なしの 9 件は除く)

出 火 原 因

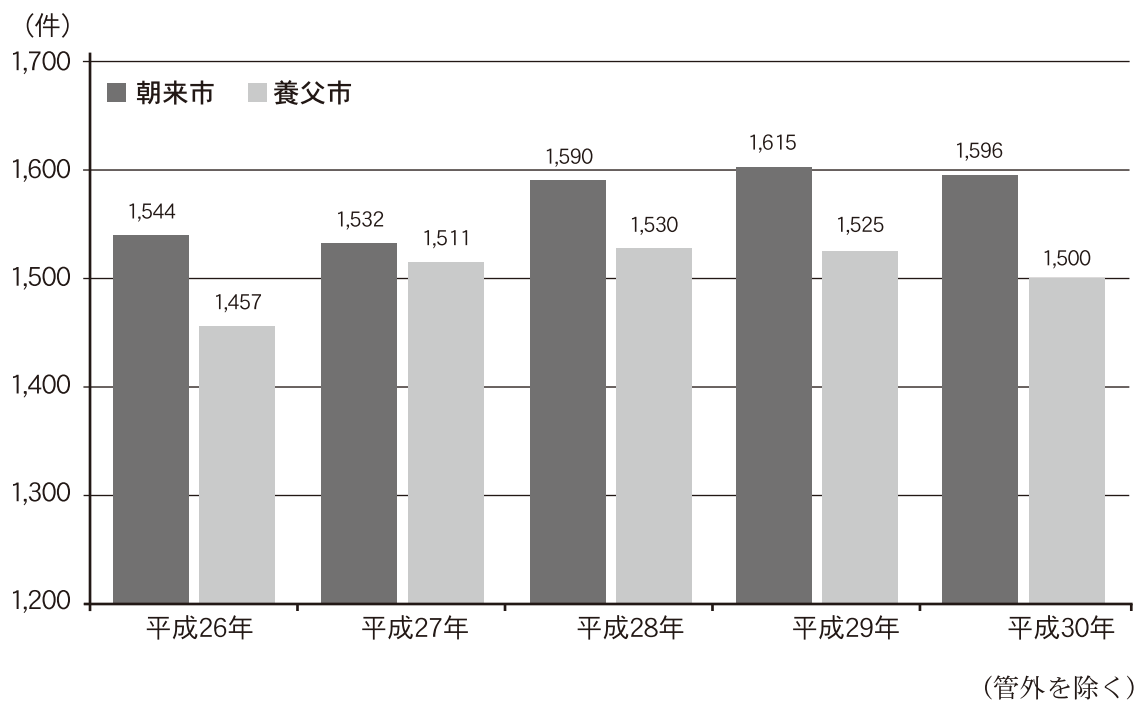
区 分		平 成 3 0 年					平 成 2 9 年				
		総 数	建 物	林 野	車 両	その他	総 数	建 物	林 野	車 両	その他
総 数		26	10		3	13	20	14	1	1	4
裸 火	た ば こ	1				1					
	虫 焼 火										
	焼 却 火	12				12	3	2	1		
	マ ッ チ										
	線 香	1	1								
人 的	火 あ そ び						1	1			
	放火(放火の疑い)						2	1			1
石 油 ・ ガ ス 類	ス ト ー ブ						2	2			
	風 呂 か ま ど										
	石 油 機 器						1	1			
	ガ ス 機 器	2	1		1		1				1
	そ の 他	1	1								
電 気 関 係	ス ト ー ブ										
	炉						1	1			
	制 御 盤	1	1								
	配 線 等										
車 両	ブ レ ー キ										
	エ ン ジ ン										
	排 気 管										
	そ の 他	1			1		1			1	
そ の 他	化 学 反 応						1	1			
	煙 突	1	1								
	か ま ど	1	1								
	焼 却 炉						1	1			
	自 作 の 炉						1	1			
	不 明	5	4		1		4	2			2
	そ の 他						1	1			

用途別火災発生状況

用途別 区分		火災発生件数 (件)	焼 損 面 積		損 害 額 (千円)	焼 損 棟 数 (棟)	死 傷 者	
			建 物				死 者 (人)	負 傷 者 (人)
			床面積 (㎡)	表面積 (㎡)				
総 数		26	1,019	1	37,389	12	2	6
建 物 火 災	住 宅	3	752		27,885	4	2	1
	遊 技 場							
	飲 食 店	1			1	1		
	店 舗	1			8	1		
	旅 館・ホ テ ル							
	病院・福祉施設							
	学 校							
	神 社 ・ 寺 院							
	工 場 ・ 作 業 場	3	243		6,679	3		1
	倉 庫	1	24		227	1		
	車 庫							
	養鶏舎・養畜舎							
	事務所・官公署							
	そ の 他	1		1	10	1		
林 野 火 災								
車 両 火 災		3			2,514			
そ の 他 の 火 災	田 畑	7			35	1		3
	空 地	3			5			
	公 園							
	河 川 敷	1			25			
	そ の 他	2						1

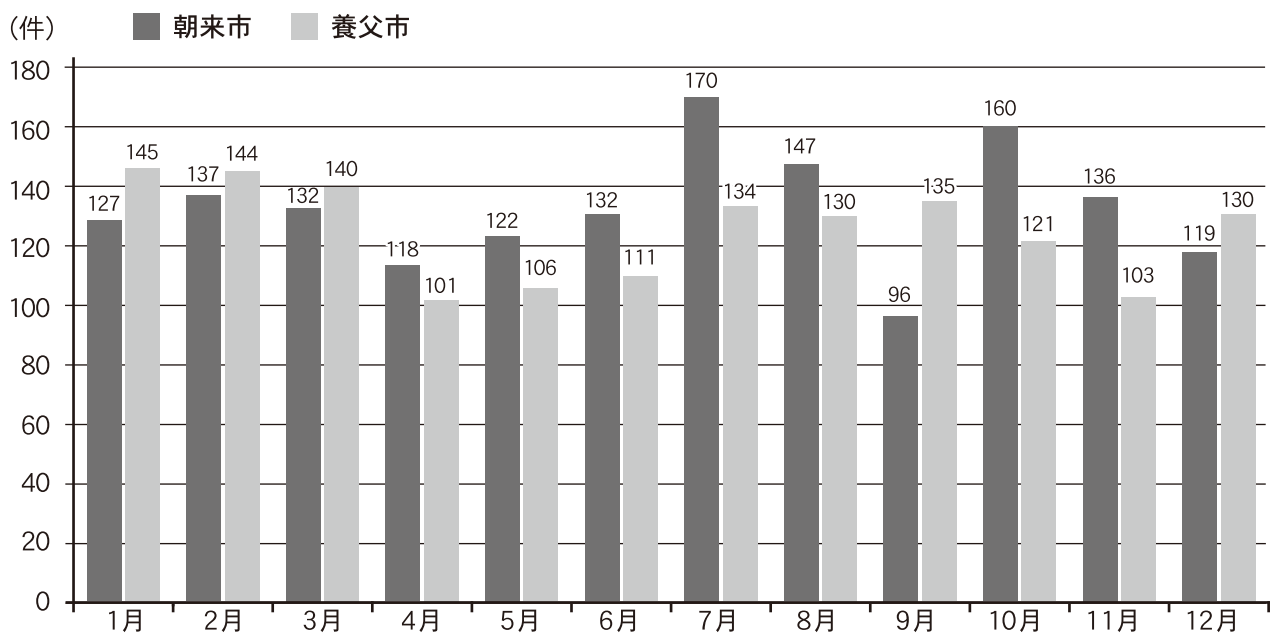
年次別救急発生状況

種 別 \ 年別		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
総 数		3,006	3,046	3,123	3,144	3,096
朝 来 市	小 計	1,544	1,532	1,590	1,615	1,596
	交通事故	155	155	140	135	97
	一般負傷	235	262	250	262	235
	急 病	970	898	997	997	1,046
	転院搬送	94	136	102	112	111
	そ の 他	90	81	101	109	107
養 父 市	小 計	1,457	1,511	1,530	1,525	1,500
	交通事故	121	110	122	79	113
	一般負傷	271	240	241	281	257
	急 病	793	845	869	836	885
	転院搬送	167	204	203	203	154
	そ の 他	105	112	95	126	91
管 外		5	3	3	4	



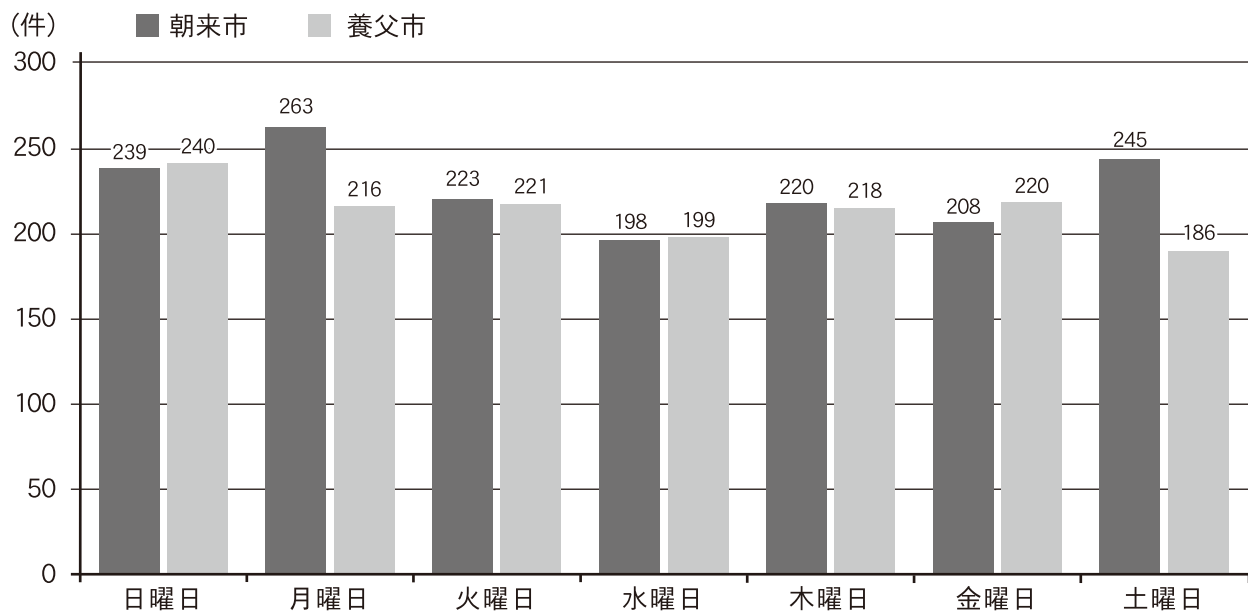
月別救急発生状況

種 別 \ 月 別		総 数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 数		3,096	272	281	272	219	228	243	304	277	231	281	239	249
朝 来 市	小 計	1,596	127	137	132	118	122	132	170	147	96	160	136	119
	交通事故	97	3	7	12	7	4	10	9	11	5	12	6	11
	一般負傷	235	22	13	27	14	15	12	21	25	13	27	27	19
	急 病	1,046	89	95	79	83	84	86	125	85	62	97	86	75
	転院搬送	111	8	14	4	7	9	10	6	11	10	14	11	7
	そ の 他	107	5	8	10	7	10	14	9	15	6	10	6	7
養 父 市	小 計	1,500	145	144	140	101	106	111	134	130	135	121	103	130
	交通事故	113	9	6	7	11	2	17	13	14	8	12	5	9
	一般負傷	257	32	32	28	13	18	14	18	22	17	25	20	18
	急 病	885	82	85	83	59	73	61	80	69	88	64	59	82
	転院搬送	154	17	12	11	8	9	9	16	16	12	13	15	16
	そ の 他	91	5	9	11	10	4	10	7	9	10	7	4	5
管外	小 計													



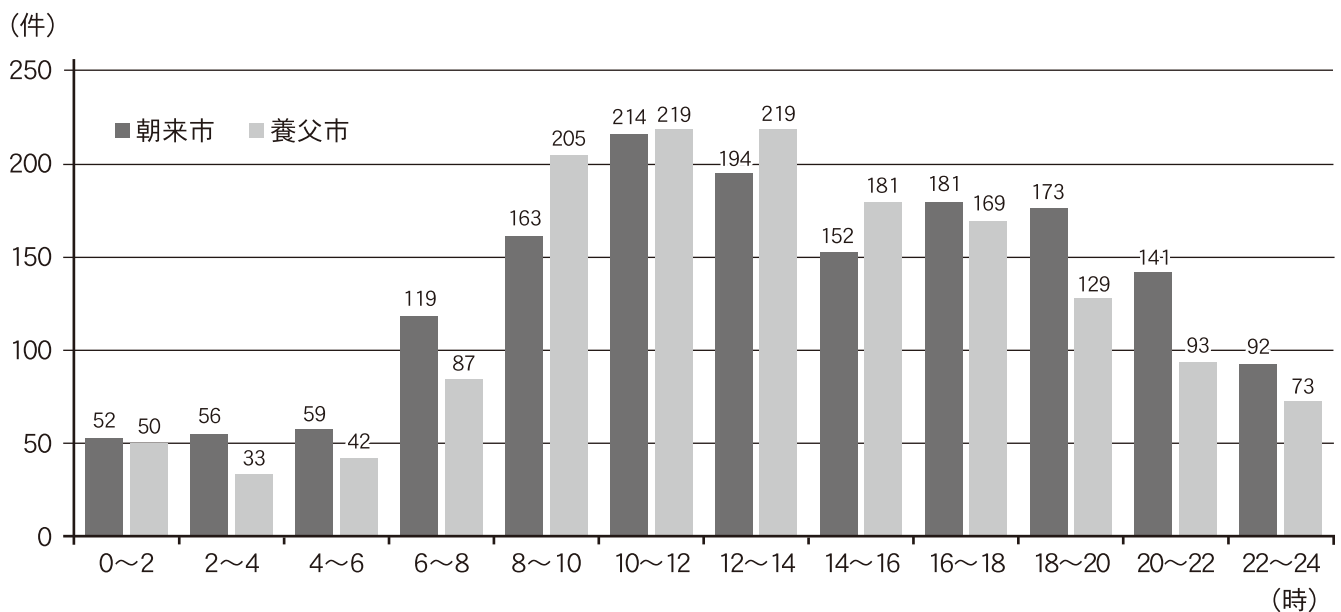
曜日別救急発生状況

種 別		曜 日 別	総 数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総 数			3,096	479	479	444	397	438	428	431
朝 来 市	小 計		1,596	239	263	223	198	220	208	245
	交通事故		97	20	13	22	7	17	5	13
	一般負傷		235	33	35	29	24	31	44	39
	急 病		1,046	167	175	139	135	133	135	162
	転院搬送		111	8	19	19	15	24	16	10
	そ の 他		107	11	21	14	17	15	8	21
養 父 市	小 計		1,500	240	216	221	199	218	220	186
	交通事故		113	21	8	22	14	17	11	20
	一般負傷		257	41	41	43	26	34	35	37
	急 病		885	146	121	118	124	136	138	102
	転院搬送		154	11	33	27	20	21	25	17
	そ の 他		91	21	13	11	15	10	11	10
管外	小 計									



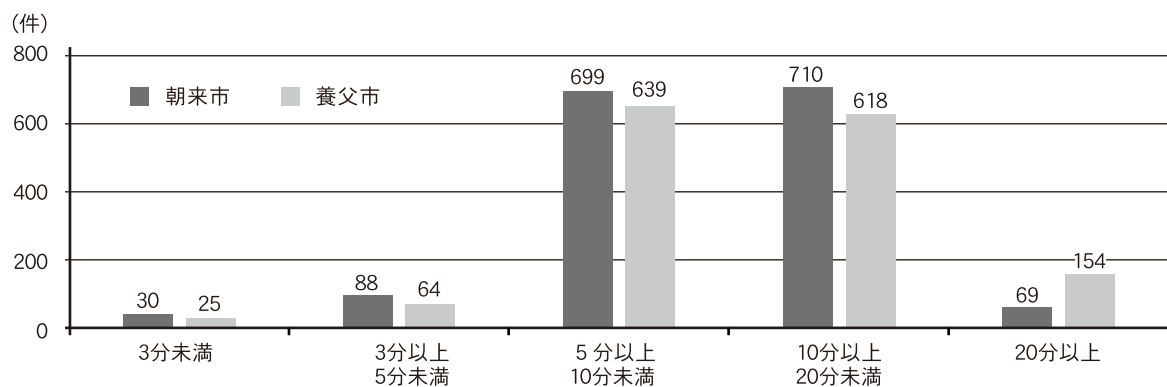
時間別救急発生状況

種 別 \ 時間別		総 数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		3,096	102	89	101	206	368	433	413	333	350	302	234	165
朝 来 市	小 計	1,596	52	56	59	119	163	214	194	152	181	173	141	92
	交通事故	97				5	10	25	8	16	21	7	2	3
	一般負傷	235	6	11	13	13	25	28	30	19	28	22	28	12
	急 病	1,046	44	43	41	97	103	108	108	89	100	132	109	72
	転院搬送	111					15	33	24	15	14	8		2
	そ の 他	107	2	2	5	4	10	20	24	13	18	4	2	3
養 父 市	小 計	1,500	50	33	42	87	205	219	219	181	169	129	93	73
	交通事故	113	2	1	1	8	24	13	11	15	22	5	9	2
	一般負傷	257	5	6	9	14	42	39	42	23	28	25	16	8
	急 病	885	37	23	31	63	107	113	112	114	82	85	61	57
	転院搬送	154	6	1			15	33	33	17	27	11	5	6
	そ の 他	91		2	1	2	17	21	21	12	10	3	2	
管外	小 計													



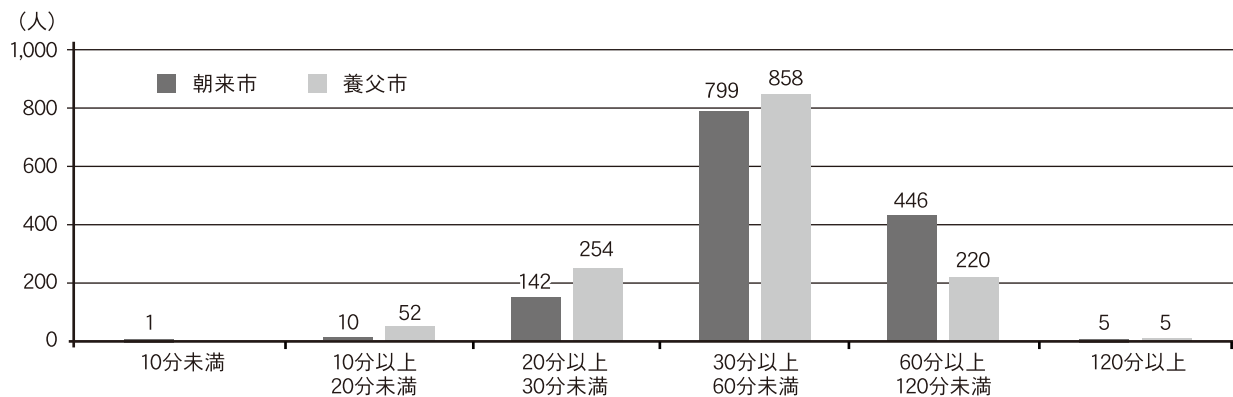
覚知から現場到着までの所要時間状況

発生場所別 \ 時 間	総 数	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着 平均所要 時間(分)
総 数	3,096	55	152	1,338	1,328	223	10.7
朝 来 市	1,596	30	88	699	710	69	10.1
養 父 市	1,500	25	64	639	618	154	11.4
管 外							



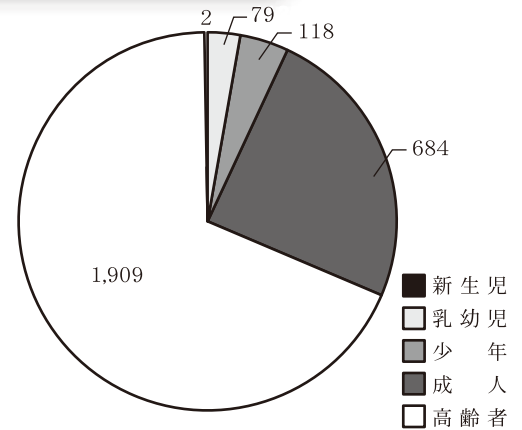
覚知から医療機関収容までの所要時間状況

発生場所別 \ 時 間	総 数	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	病院収容 平均所要 時間(分)
総 数	2,792	1	62	396	1,657	666	10	48.0
朝 来 市	1,403	1	10	142	799	446	5	52.2
養 父 市	1,389		52	254	858	220	5	43.7
管 外								



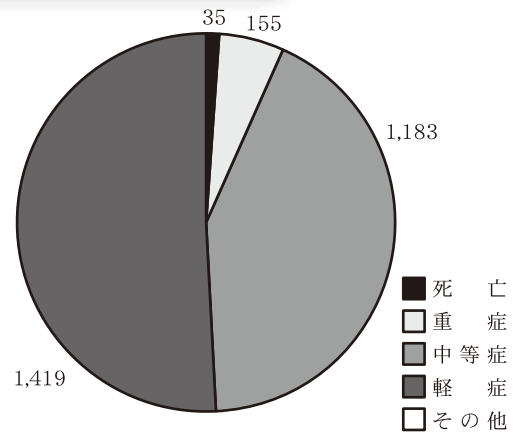
年齢区分別搬送人員

種別	区分	総 数	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
総 数		2,792	2	79	118	684	1,909
交 通 事 故		195		6	16	96	77
一 般 負 傷		465		25	16	82	342
急 病		1,803		42	69	407	1,285
転 院 搬 送		264	2	6	3	61	192
そ の 他		65			14	38	13



傷病程度別搬送人員

種別	区分	総 数	死亡	重症	中等症	軽症	その他
総 数		2,792	35	155	1,183	1,419	
交 通 事 故		195	1	10	57	127	
一 般 負 傷		465	13	31	192	229	
急 病		1,803	18	103	694	988	
転 院 搬 送		264		5	219	40	
そ の 他		65	3	6	21	35	



※ 死 亡…初診時、死亡と診断されたもの
 重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症…入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽 症…入院加療を必要としないもの
 その他…医師の診断のないもの

ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況

種別	月別	総 数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
総 数		1,681	165	140	156	121	137	122	180	134	129	140	127	130
交 通 事 故		94	5	4	7	6	3	12	8	13	10	9	10	7
一 般 負 傷		132	11	10	18	7	8	8	14	12	9	18	9	8
急 病		1,377	144	121	129	101	117	90	152	101	105	104	101	112
転 院 搬 送		46	5	5		5	6	4	4	3	4	7	3	
そ の 他		32			2	2	3	8	2	5	1	2	4	3

事故種別・収容医療機関状況

種 別 医療機関			総 数	比率(%)	交通事故	一般負傷	急病	転院搬送	その他
総 数			2,792	100	195	465	1,803	264	65
管内	小 計		1,284	46.1	80	261	841	74	28
	病 院	八 鹿 病 院	1,046	37.5	56	193	716	64	17
		朝来医療センター	225	8.1	24	66	117	10	8
		その他の病院							
	診 療 所 等		11	0.4		2	8		1
	そ の 他		2	0.1					2
	管外	小 計		1,508	53.9	115	204	962	190
病 院		豊 岡 病 院 (ドクターヘリ含む)	1,348	48.2	111	169	867	165	36
		神崎総合病院	104	3.7	3	29	64	7	1
		その他の病院	53	1.9	1	6	28	18	
診 療 所 等		3	0.1			3			

地域別・収容医療機関状況

市 別 医療機関		総 数	朝 来 市	比率(%)	養 父 市	比率(%)	管 外
総 数		2,792	1,403	100	1,389	100	
朝来市内医療機関	小 計	234	208	14.8	26	1.9	
	朝来医療センター	225	200	14.3	25	1.8	
	そ の 他 の 病 院						
	診 療 所 等	7	6	0.4	1	0.1	
	そ の 他	2	2	0.1			
養父市内医療機関	小 計	1,050	377	26.9	673	48.4	
	八 鹿 病 院	1,046	375	26.8	671	48.3	
	そ の 他 の 病 院						
	診 療 所 等	4	2	0.1	2	0.1	
	そ の 他						
管外	小 計	1,508	818	58.3	690	49.7	
	豊岡病院(ドクターヘリ含む)	1,348	664	47.4	684	49.3	
	神崎総合病院	104	104	7.4			
	そ の 他 の 病 院	53	47	3.3	6	0.4	
	診 療 所 等	3	3	0.2	0	0	

救急隊の行った主な応急処置状況

処置 種別	固定	酸素 吸入	心肺 蘇生	血圧 測定	血中 酸素	心電図	除細動	静脈路 確保	薬剤 投与	器具による 気道確保
総 数	384	771	54	2,749	2,794	2,626	4	93	26	51
交通事故	160	64	3	180	182	157		6		2
一般負傷	164	72	15	446	455	407		12	2	16
急 病	33	525	30	1,805	1,830	1,767	4	66	23	30
そ の 他	27	110	6	318	327	295		9	1	3

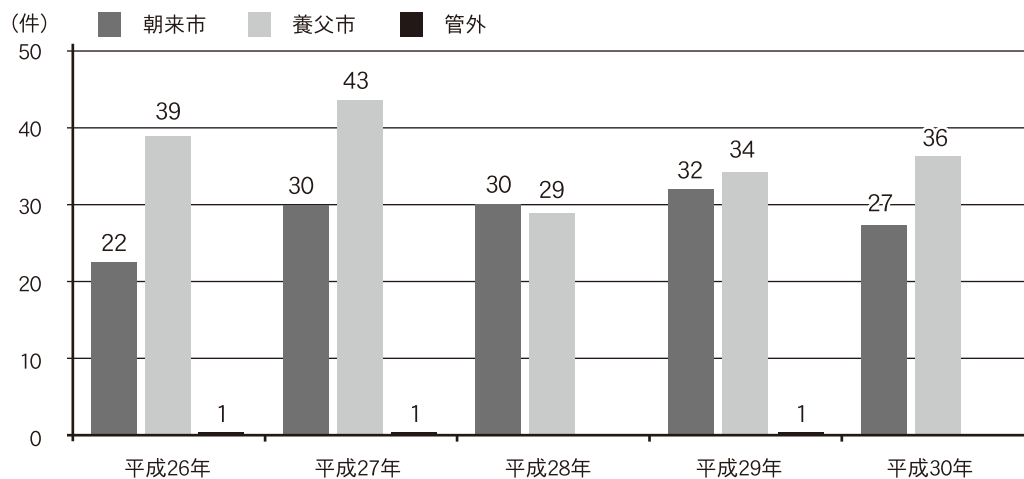
普通救命講習実施状況

区 分	実施回数(回)	受講者数(人)
学 校 関 係	9	161
事 業 所 等	7	72
消 防 団	8	187
そ の 他	17	192
総 数	41	612



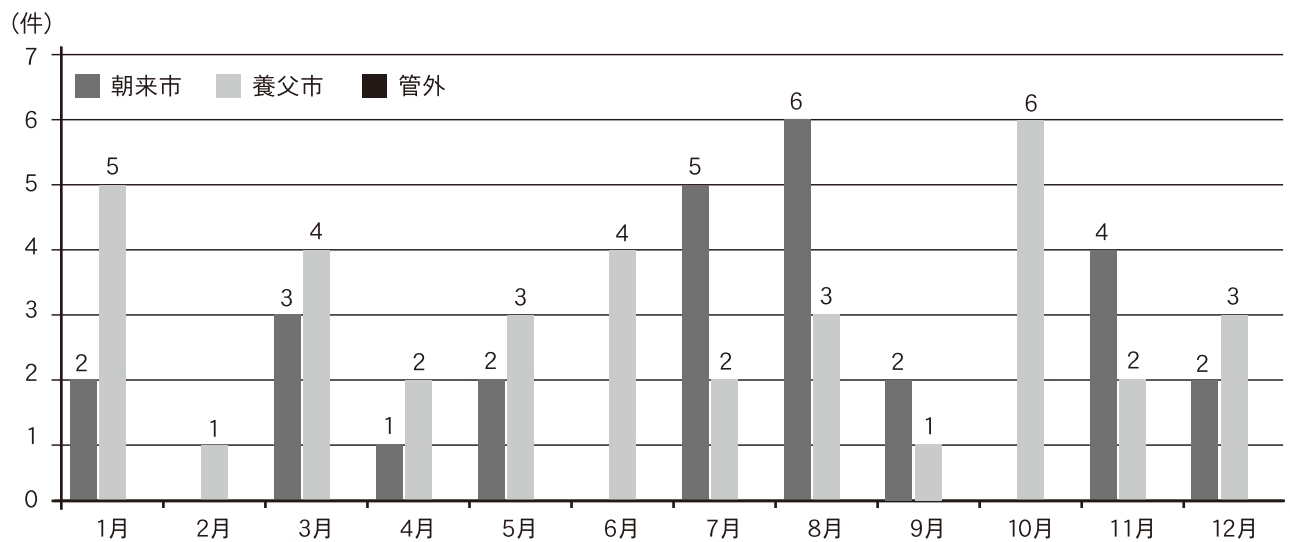
年次別救助発生状況

種別		年別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
総 数			62	74	59	67	63
朝来市	小 計		22	30	30	32	27
	火 災						2
	交 通 事 故		16	18	15	16	6
	水 難 事 故		2	2		5	2
	自 然 災 害						3
	機械による事故			2	2		
	建物等による事故				2	1	1
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他		4	8	11	10	13
養父市	小 計		39	43	29	34	36
	火 災		1	3			
	交 通 事 故		26	23	14	19	18
	水 難 事 故			1	1	1	
	自 然 災 害						1
	機械による事故		2		1		
	建物等による事故			1		1	4
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他		10	15	13	13	13
管 外			1	1		1	



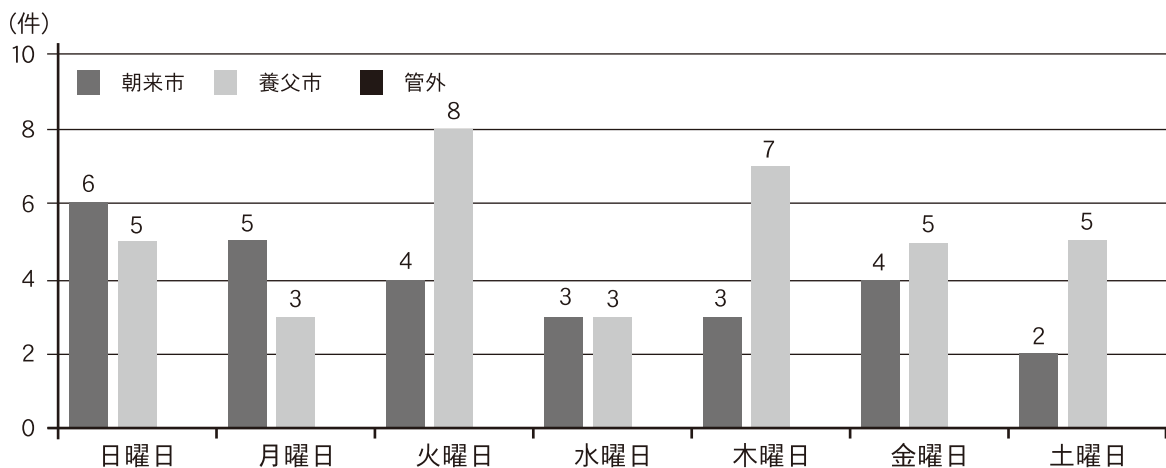
月別救助発生状況

種別		月別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数			63	7	1	7	3	5	4	7	9	3	6	6	5
朝来市	小計		27	2		3	1	2		5	6	2		4	2
	火災		2	1		1									
	交通事故		6			1		2		1					2
	水難事故		2									1		1	
	自然災害		3							3					
	機械による事故														
	建物等による事故		1								1				
	ガス及び酸欠事故														
	破裂事故														
	その他		13	1		1	1			1	5	1		3	
養父市	小計		36	5	1	4	2	3	4	2	3	1	6	2	3
	火災														
	交通事故		18	3			1	1	2	1	2		4	1	3
	水難事故														
	自然災害		1							1					
	機械による事故														
	建物等による事故		4	1		1			1		1				
	ガス及び酸欠事故														
	破裂事故														
	その他		13	1	1	3	1	2	1			1	2	1	
管外	小計														



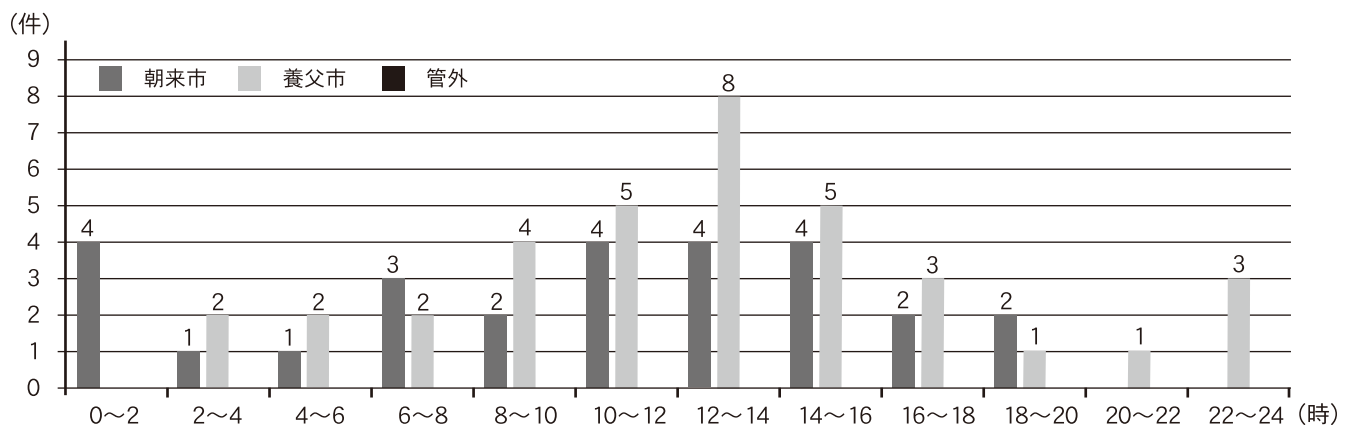
曜日別救助発生状況

種別	曜日別	総 数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総 数		63	11	8	12	6	10	9	7
朝来市	小 計	27	6	5	4	3	3	4	2
	火 災	2				1	1		
	交 通 事 故	6	2	1	2		1		
	水 難 事 故	2		1				1	
	自 然 災 害	3						1	2
	機械による事故								
	建物等による事故	1			1				
	ガス及び酸欠事故								
	破 裂 事 故								
	そ の 他	13	4	3	1	2	1	2	
養父市	小 計	36	5	3	8	3	7	5	5
	火 災								
	交 通 事 故	18	1	3	2	3	5	3	1
	水 難 事 故								
	自 然 災 害	1						1	
	機械による事故								
	建物等による事故	4			3			1	
	ガス及び酸欠事故								
	破 裂 事 故								
	そ の 他	13	4		3		2		4
管外	小 計								



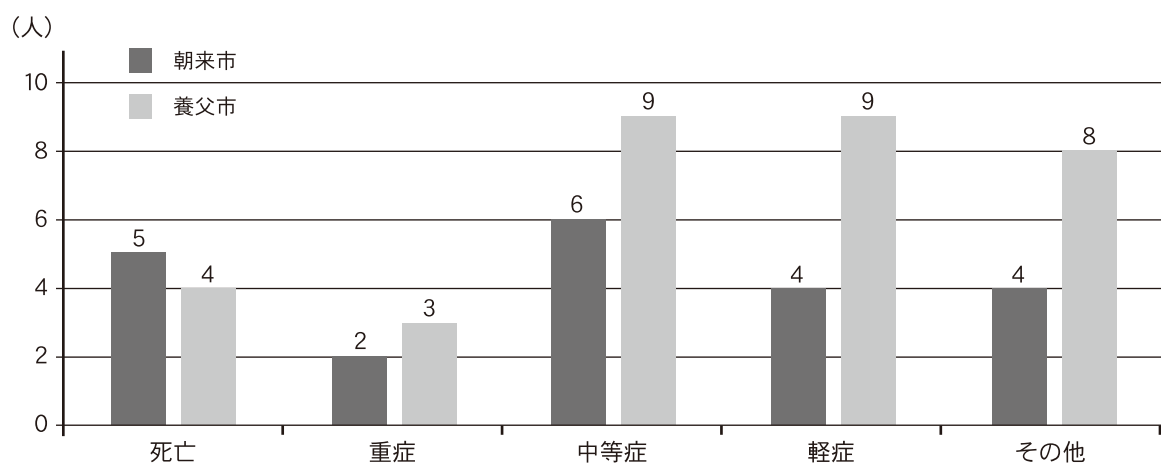
時間別救助発生状況

種 別 \ 時間別		総 数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		63	4	3	3	5	6	9	12	9	5	3	1	3
朝 来 市	小 計	27	4	1	1	3	2	4	4	4	2	2		
	火 災	2			1	1								
	交 通 事 故	6					1	2		1	1	1		
	水 難 事 故	2							1	1				
	自 然 災 害	3	3											
	機械による事故													
	建物等による事故	1										1		
	ガス及び酸欠事故													
	破 裂 事 故													
	そ の 他	13	1	1		2	1	2	3	2	1			
養 父 市	小 計	36		2	2	2	4	5	8	5	3	1	1	3
	火 災													
	交 通 事 故	18		2	1	2	2	1	4	2	2		1	1
	水 難 事 故													
	自 然 災 害	1												1
	機械による事故													
	建物等による事故	4						1			1	1		1
	ガス及び酸欠事故													
	破 裂 事 故													
	そ の 他	13			1		2	3	4	3				
管外	小 計													



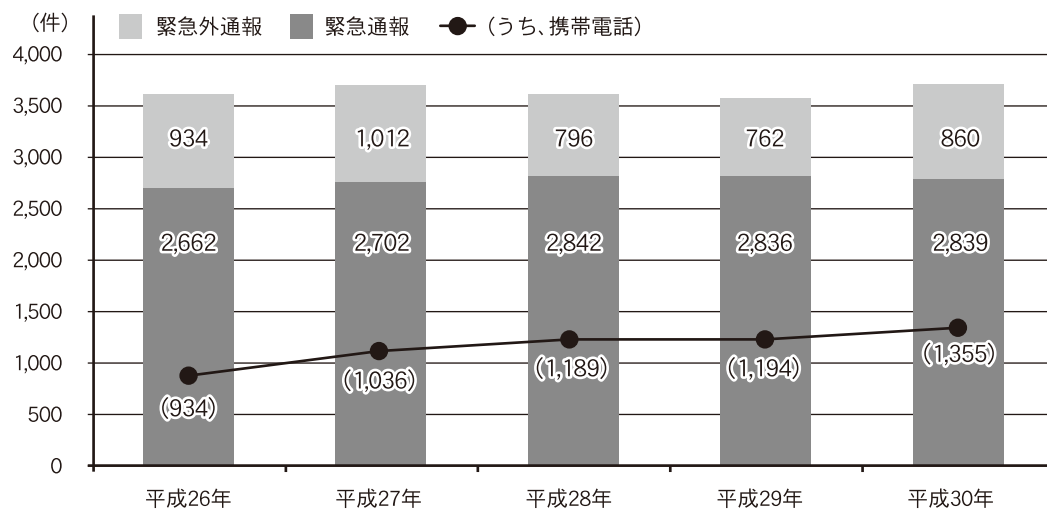
事故種別・傷病程度別状況

種 別		傷病程度	救 助 人 員				
		総 数	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
総 数		54	9	5	15	13	12
朝 来 市	小 計	21	5	2	6	4	4
	火 災	2	2				
	交 通 事 故	4			4		
	水 難 事 故	2	2				
	自 然 災 害	3					3
	機械による事故						
	建物等による事故						
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他	10	1	2	2	4	1
養 父 市	小 計	33	4	3	9	9	8
	火 災						
	交 通 事 故	16	1	3	8	4	
	水 難 事 故						
	自 然 災 害	7					7
	機械による事故						
	建物等による事故	3	1			2	
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他	7	2		1	3	1
管外	小 計						



年次別 119 番受信状況

種別		年別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
総 数 (うち、携帯電話)			3,596 (934)	3,714 (1,036)	3,638 (1,189)	3,598 (1,194)	3,699 (1,355)
緊急通報	小 計		2,662	2,702	2,842	2,836	2,839
	火 災 通 報		23	22	21	15	23
	救 急 通 報		2,397	2,412	2,576	2,591	2,572
	病 院 紹 介		85	103	59	65	48
	台風関連第2報等		130	131	146	127	149
	ガス漏検索誤報等		27	34	40	38	47
緊急外通報	小 計		934	1,012	796	762	860
	通 報 訓 練		347	324	327	305	304
	間 違 い		136	115	90	94	117
	い た ず ら		10	1	3	4	1
	問 合 せ		52	43	74	83	111
	そ の 他		389	529	302	276	327



消防用機器の配置状況

平成31年4月1日現在

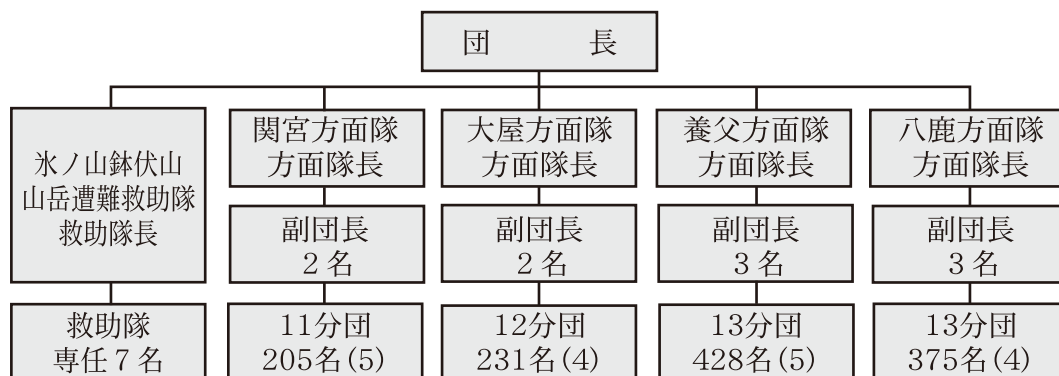
名 称		朝来署	養父署
通 信 設 備	消防緊急通信指令施設I型	1	
	119番専用回線(携帯等含)	8回線	
	119番FAX受信装置	1	
	消防無線陸上移動局/車載	14	11
	消防無線陸上移動局/携帯	28	25
	フェニックス防災システム	1	
	告知放送設備	2	1
	防災無線設備	1	
	簡易車両動態システム	6	5
	消防職団員参集メールシステム	1	
消 防 資 機 材	ホース(65mm)	132	113
	ホース(50mm)	152	164
	C級可搬式ポンプ	2	1
	D級可搬式ポンプ		1
	ジェットシューター	27	25
	高発泡器	1	1
	組立式布水槽	3	3
	C A F S 薬剤	400ℓ	100ℓ
	熱画像直視装置	1	1
救 急 資 機 材	半自動除細動器	3	3
	患者監視装置	3	3
	パルスオキシメーター	3	3
	喉頭鏡	3	3
	ビデオ硬性喉頭鏡	2	2
	気管挿管セット	3	3
	呼吸管理器具	3	3
	自動式心マッサージ器	3	3
	陰圧式固定具	3	3
	スクープストレッチャー	5	4
	バックボード	9	6
	高度救急シミュレーター	2	2
	静脈注射訓練モデル	1	1
	心肺蘇生訓練用人体	9	9
	A E D トレーナー	4	4
	ショートボード	1	2
名 称		朝来署	養父署
救 助 資 機 材	耐熱服	2	2
	空気呼吸器	18	14
	エンジンカッター	3	2
	エアーカーター	1	1
	エッジローラー	2	2
	チルホール	2	2
	チェーンソー	3	2
	ルーカスレスキューツール	1	1
	マット型空気ジャッキ	1	1
	救助マット	1	1
	緩降機	1	1
救 急 資 機 材	送排風機	1	1
	救命索発射銃	1	1
	舟型担架	2	2
	スケッドストレッチャー	3	3
	ガス溶断機	1	1
	エアソー	1	1
	グラスソー	5	2
	化学防護服(陽圧式)	4	
	化学防護服	5	6
	防毒マスク	14	7
	マンホール救助器具	1	1
	電動鉄線カッター		1
	ガス測定器	2	2
	車両移動器具	1	1
	削岩機	1	1
	酸素呼吸器		2
	簡易画像探索器	1	1
	距離測定器		1
	G P S ガーミン	2	2
	ハンマードリル	2	1
	セイバーソー	1	1
	エアータント	2	1
	ウェットスーツ一式	5	6
	救命胴衣(PFD含む)	28	31
	救命浮輪	4	5
	救助用ボート	1	1
	船外機	1	1

各種団体

消 防 団

平成31年4月1日現在

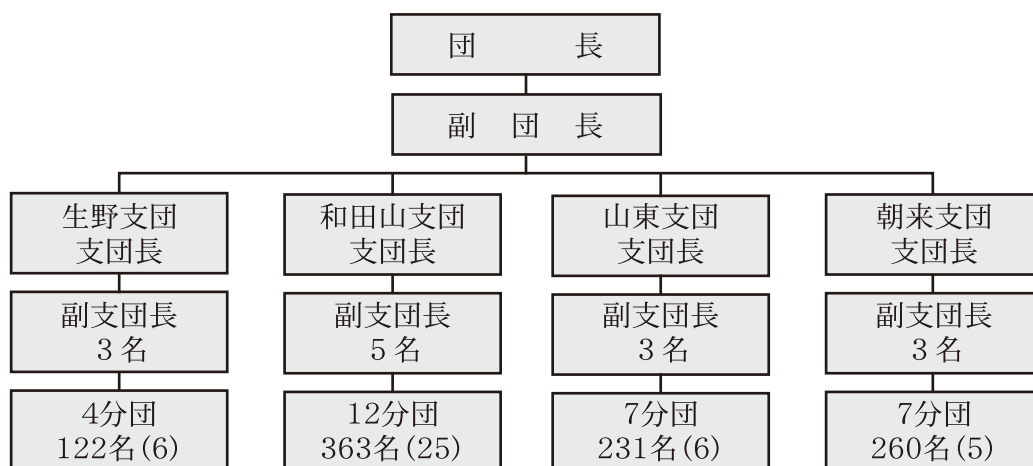
● 養父市消防団組織図（総員1,247名）



※氷ノ山鉢伏山岳遭難救助隊は各方面隊との兼任を含む

()内は女性団員

● 朝来市消防団組織図（総員978名）



()内は女性団員

● 消防団との連携

消防団は災害時にいかなる状況下においても、迅速、確実、かつ安全に消防活動ができるように、消防署との実践的な合同訓練や研修を意欲的に取り組んでいます。

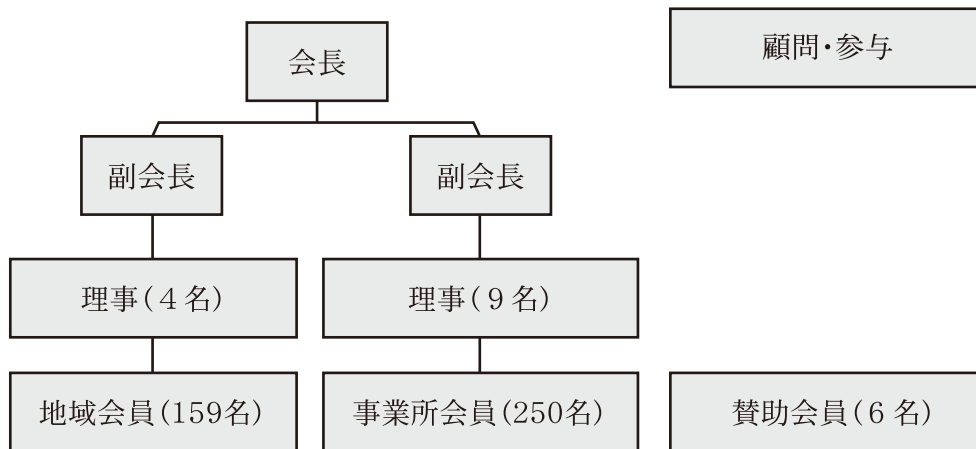
平成30年度消防団との合同訓練内容

養 父 市	11月11日	養父市密集地火災防ぎょ訓練	八鹿町八鹿
	1月27日	養父方面隊との合同消防訓練	養父市建屋
	3月10日	大屋方面隊との合同消防訓練	大屋町蔵垣
朝 来 市	11月 4日	山東地区住宅密集地火災防ぎょ訓練	山東町矢名瀬町
	11月 9日	和田山支団夜間消防合同訓練	和田山町高生田
	1月20日	赤淵神社文化財合同消防訓練	和田山町枚田
	3月 3日	山東支団消防合同訓練	朝来市多々良木
	3月10日	生野支団合同訓練	生野町口小野

朝来市自主防災推進協議会の現況

協議会組織図

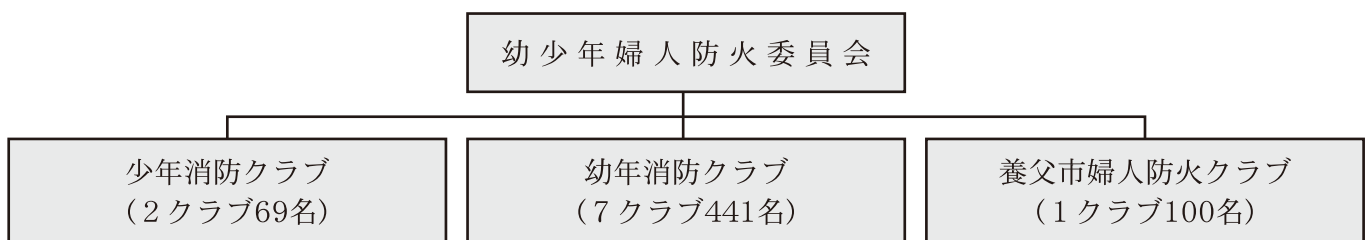
(平成31年4月1日現在)



養父市幼少年婦人防火委員会の現況

防火委員会組織図

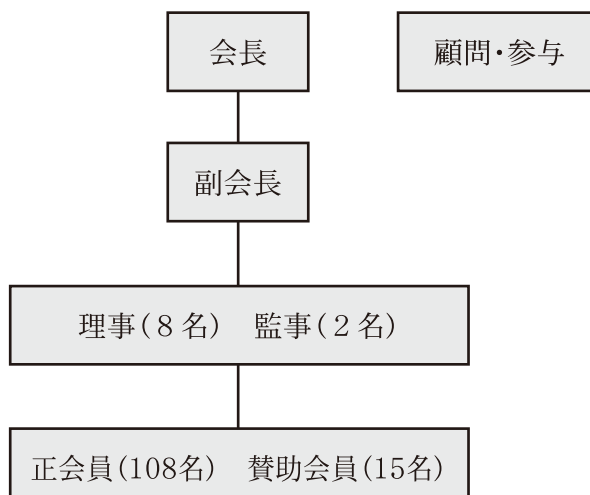
(平成31年4月1日現在)



南但危険物安全協会の現況

協会組織図

(平成31年4月1日現在)





播但連絡道路アichi橋（朝来市）



天滝（養父市）

提供：やぶ市観光協会

養父市・朝来市の安全をめざして

(住宅用火災警報器を設置しましょう)

＝ 消防年報 第7号 ＝

南但消防本部年報編集委員会

〒669-5261

兵庫県朝来市和田山町枚田436-1

T E L (0 7 9) 6 7 2 - 0 1 1 9

F A X (0 7 9) 6 7 2 - 5 0 4 6

消防本部ホームページアドレス

<http://www.nantan.hyogo.jp/fire/>



「消防年報」は、資源保護のため環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。